

第六十一回帝國議會
衆議院

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
外五件委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和七年三月二十二日(火曜日)

議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

大口 喜六君 胎中楠右衛門君

石井 三郎君 熊谷 巖君

瀧 正雄君 志賀和多利君

箸本 太吉君 矢野 晋也君

中村 嘉壽君 木暮武太夫君

板谷 順助君 堀川 美哉君

石坂 豐一君 松山常次郎君

森田 福市君 西岡竹次郎君

山村豐次郎君 松田 源治君

小川郷太郎君 川崎 克君

堤 康次郎君 中島彌團次君

勝 正憲君 工藤 鐵男君

中村 繼男君 田中 貢君

小池 四郎君

同日午後四時四十五分委員長理事ヲ選ノ爲
委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

大口 喜六君 胎中楠右衛門君

石井 三郎君 熊谷 巖君

瀧 正雄君 志賀和多利君

箸本 太吉君 矢野 晋也君

中村 嘉壽君 木暮武太夫君

板谷 順助君 堀川 美哉君

石坂 豐一君 松山常次郎君

森田 福市君 西岡竹次郎君

山村豐次郎君 松田 源治君

小川郷太郎君 川崎 克君

堤 康次郎君 中島彌團次君

勝 正憲君 工藤 鐵男君

中村 繼男君 田中 貢君

小池 四郎君

年長者山村豐次郎君投票管理者ト爲ル

○山村投票管理者 私年長ノ故ヲ以テ投票

管理者トナリマス、是ヨリ委員長ノ互選ヲ

致シマス

○志賀委員長 是ハ投票ノ煩モアリマスカ

ラ、私ヨリ大口喜六君ヲ委員長ニ推薦シタ

イト思ヒマス、皆様ノ御賛成ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○山村投票管理者 志賀君ノ御提議ニ御異

議ナイモノト認メマス、大口喜六君ガ委員

長ニ當選セラレマシタ

○大口委員長 甚ダ不行届デゴザイマス

ガ、諸君ノ御推舉ニ依リマシテ此席ヲ汚シ

マス、何卒御援助ヲ願ヒマス

○志賀委員長 理事ノ數ハ六名ト致シマシテ、

委員長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○大口委員長 志賀君ノ發議ニ御異議アリ

マセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○大口委員長 御異議ナイト認メマス、仍

テ直ニ理事六名ヲ指名致シマス

胎中楠右衛門君

板谷 順助君

石坂 豐一君

堀川 美哉君

工藤 鐵男君

中島彌團次君

此六君ヲ指名致シマス(拍手)暫ク休憩致

シマス、直ニ又開ク考デアリマス

午後四時四十六分休憩

會議

昭和七年三月二十二日(火曜日)午後六時十

七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 大口 喜六君

理事胎中楠右衛門君 理事板谷 順助君

理事石坂 豐一君 理事堀川 美哉君

理事工藤 鐵男君 理事中島彌團次君

石井 三郎君 熊谷 巖君

瀧 正雄君 志賀和多利君

箸本 太吉君 矢野 晋也君

中村 嘉壽君 木暮武太夫君

松山常次郎君 森田 福市君

西岡竹次郎君 山村豐次郎君

松田 源治君 小川郷太郎君

川崎 克君 堤 康次郎君

付託議案

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル
法律案(政府提出)
昭和七年勅令第四號(金貨兌換禁止ニ關スル件)
昭和七年勅令第七號(國債償還資金ノ繰入一部停
止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
昭和七年勅令第六號(滿洲事件ニ關スル經費支辨
ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
昭和七年勅令第十四號(滿洲事件ニ關スル經費支
辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支
辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

勝 正憲君 中村 繼男君

田中 貢君 小池 四郎君

鈴木 義隆君

同日委員松山常次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鈴木義隆君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣兼
內務大臣 犬養 毅君

大藏大臣 高橋 是清君

海軍大臣 大角 岑生君

陸軍大臣 荒木 貞夫君

拓務大臣 秦 豐助君

外務大臣 芳澤 謙吉君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官子爵 岩城 隆德君

外務參與官 高橋熊次郎君

外務書記官 松宮 順君

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏參與官 太田 正孝君

大藏省主計局長 藤井 眞信君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏書記官 川越 丈雄君

陸軍政務次官 若宮 貞夫君

陸軍參與官子爵 土岐 章君

陸軍主計監 小野寺長治郎君

陸軍少將 山岡 重厚君

陸軍一等主計正 大内球三郎君

海軍政務次官伯爵 堀田 正恒君

海軍參與官 西村 茂生君

海軍主計中將 加藤 亮一君

海軍少將 豐田貞次郎君

拓務參與官、牧野 賤男君

拓務書記官 杉田 芳郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年勅令第四號(金貨兌換禁止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第七號(國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第六號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第二十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第二十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第三十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第三十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第四十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第四十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第五十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第五十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第六十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第六十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第七十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第七十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第八十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第八十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第九十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

ク議事ヲ拂リタイト考ヘマス、殊ニ今日中ニ議了致シタイ希望ヲ有テ居リマス、其御含ミノ上御進行ヲ乞ヒタイト存ジマス、便宜ノ爲メ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件、併セテ六件デアリマス、之ヲ一括シテ議題ニ供シマス、政府ニ於キマシテハ既ニ本會ニ於テ説明致シタコトデアリカラ、此場合説明ヲ略シタイトコトデアリマス、直チニ質問ニ入りタイト存ジマス、質問ハ通告順ニ依テ之ヲ許シマス、川崎克君

○川崎委員 質問ニ當テ希望ヲ致シテ置キマスルガ、只今委員長ノ御話ノヤウニ會期モ切迫致シテ居リマスルカラ、成タケ議事ヲ圓滑ニ運シデ行キタイト思ヒマスルカラ、質問者ニ於テモ成タケ重複ヲ避ケルヤウニ致シマシテ、簡潔ニ御尋ヲ致シマスルガ、御答ヲ下サル方モ、親切丁寧ニ御答ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、一括シテ議題ニ供セラレテ居リマスルカラ、質問モ一括シテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、順序トシテ先ヅ第一ニ御尋ヲ致シタイノハ、減債基金ノ繰入停止ニ關スル事後承諾案ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、繰入停止ノ今同御承認ヲ求メラレマス分ハ四千四百萬圓デアリマスルガ、是ハ四千四百萬圓ヲ限ル

ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ將來ニ此勅令ハ存續スル必要ガアルカラ云々ト云フ、本會議ニ於ケル提案者ノ御説明デアッタノデアリマスガ、昭和六年度ニ於テハ今回ニ限ルトアリマス、所ガ昭和七年度ノ豫算ニ於テモ、亦同ジク減債基金ノ繰延停止ガアルヤウニ思ヒマスルガ、是ハ如何ナモノデアリマスカ、之ヲ御尋致シマスル趣意ハ、六年度ニ限ッテヤルノダ、七年度カラハヤライナイノダト、斯ウ云フ風ニ見エルノデアリマススケレドモ、サウデハナクシテ、又七年度モ繼續セラル、ヤウデアリマスガ、左様ニナリマスルト、際限ナク減債基金ノ繰入停止ガ行ハレルモノト諒解ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ大藏大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居リマスルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 只今御質問ノアリマシタノハ、最後ノ御諒解ノ通りデアリマス

○川崎委員 繼續スベキモノト御答ニナッタト思ヒマスルガ、左様致シマスルト、此減債基金ノ繰入停止ト云フモノハ、殆ドモ實際限ノナイモノト諒解ヲシナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、前ニ高橋大藏大臣ガ、原内閣ノ大藏大臣デアラレタ時分ニ、大正九年ニ減債基金ノ繰入停止ト云フ

モノヲヤッタコトガアリマス、當時ハ大正九年ヨリ大正十二年マデト云フコトニハッキリ明言セラレマシテ、之ニ要スル概計表モ伴ッテ出来テ居タト思ヒマス、又財政計畫モ之ニ依ッテ出来テ居タト思ヒマス、此期限ヲ切ッタト云フ所以ハ、當時提案ノ説明ヲセラレタ時モ、大正十二年ニナレバ財政ノ都合ガ好クナッテ、斯様ナ繰入停止ヲシナクテモ宜イヤウニナルト云フ御説明ガアッタノデアリマスガ、今ノ御説明デ、際限ナク繰入停止ヲナサル御趣旨デアルト云フト、公債政策ノ根本ニ於テ壞レガ來ルヤウニ私共ハ思フノデアリマスガ、其點ヲモウ一度重ネテ伺ヒタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 是ハ財界ガ好轉シテ、目下ノ殖産工業ガ發達シテ、漸次歳入ガ殖エルヤウニナッテ來マスト云フト、此繰入停止ハ必要ガナクナルノデアリマス、ソレハ何時頃ソレガナルカト云フコトハ、今ハ見當ガ付キマセヌカラ、ハッキリト何年マデトハ申上ガ兼ネマス

○川崎委員 繰入停止ヲセナケレバナラナイ事情ハ、本會議デ御説明ニナリマシタヤウニ、國費ノ支拂ノ爲ニ已ムヲ得ナイ必要デ起ッタト云フコトデアリマス、サウシテ今日ノ不況ガ直ラスマデハ、已ムヲ得ヌト左

様ニ仰シヤルコトモ大體御尤モトハ存ジマスルガ、此繰入停止ヲ無制限ニナサルト云フコトニ付テハ、財政計畫ノ根本カラ見マシテ、私共ハドウモ其當ヲ得ナイヤウナ感ガ致サレマス、ト申シマスノハ、大正九年ニアナタガ大藏大臣デ御ヤリニナッタ時分ニモ、一面ニ於テハ繰入停止ハスルケレドモ、他面ニ於テハ恆久財源トシテ所得稅及酒造稅ノ厖大ナ増稅計畫ヲナサレタ、是ハ申ス迄モナク財政計畫上、恆久的ノ支出ニ對シテハ恆久的財源ヲ以テ充テルト云フ意味カラ、財源ト使途トガ睨ミ合ッテ來タト思フノデアリマスガ、今度ノ繰入停止ハ、今後ノ財政計畫ノ——七年度以降ノ財政計畫ヲ能ク伺ッテモアリマセヌカラ分リマセヌケレドモ、大體私共ノ見マス所ニ依リマス、七年度ノ歳入ノ足ラナイモノ、又新規事業ヲヤル基礎ヲ何處ニ御置キニナルカト云ヘバ、大體公債ニ依ラナケレバナラヌ、ソレハ或ハ一部ハ關稅ノ增收ヲナサルモノモアルカモ知レマセヌガ、大部分ハ公債ノ増發ニ俟タレルト云フコトハ、大體ノ見當ハ私共左様ニ思フノデアリマス、此點モ左様デナイト仰セニナルナラバ、サウデナイト云フ理由ヲ承リタイノデアリマシマスガ、私ハ左様デアラウト思フ、サウスレバ

今後公債ヲオ募リニナル分ハ、凡ソドノ位アルカト云ヘバ、先ヅ此處ニ細カク擧ゲテ居ルノデ、大體ノ見當ヲ付ケテ見テ居ルノデアリマスガ、私ハソシテ數字ヲ申上ゲルノハ失禮デアリマスガ、先ヅ七八億ノ公債ヲ募集シナケレバナラヌト思ヒマス、主トシテ今後ノ財政計畫ノ上ニ於テ、其歳入財源トナルベキモノヲ公債ノミニ御求メニナル、斯ウ云フ建前ニ行カレニ當ッテ、今茲ニ法定償還ノ繰延停止ヲ御ヤリニナルト云フコトハ、是ハ先程小川君ノ御話モアリマシタガ、公債ノ募集條件ノ上ニ非常ナル不利益ナ狀態ガ來ルト云フコトハ、私ハドウシテモ免レヌト思ヒマス、公債ノ償還スル時ノ手續——先程仰セニナリマシタガ、サウ云フ事ハ私ハ御尋スル必要ハアリマセヌガ、兎ニ角償還ヲナサッテ、今迄ノ例カラ見レバ償還ヲシテ、募債ヲシテ行クト云フ例ニナッテ居ルノデアリマスガ、募集條件ヲ好クスル、募集條件ヲ好クスルト云フコトハ、言フ迄モナク公債ノ手取りヲ好クスル、公債ノ手取りヲ好クスルト云フコトハ、言フ迄モナク國民ノ負擔ヲ輕クスル、斯フ云フ事ニナルノデアリマスカラ、公債ノ募集條件ヲ好クスルニハ、先ヅ減債基金ト云フ、法定セラレタ基金制度ト云フモノハ存續セ

ラル、コトガ必要デハナイカ、若シ已ムヲ得ナケレバ、是ハ急イデ御復活ニナルコトガ必要デハナイカ、斯様ニ私ハ思フノデアリマスガ其點ハドウ云フ風ニ御考ニナルノデセウカ

○高橋國務大臣 此減債基金繰入ノ一部ヲ廢スルト云フコトハ、斯ウ云フ事ニナルノデアリマス、若シ繰入ヲ停止シナケレバ、ソレダケ公債ノ發行ヲ殖ヤサンケレバナラヌ、今日ノ狀勢ニ於キマシテハ、政府ガ公債發行ノ時ニ臨ンデ、一時市價ヲ高メル爲ニ、買入ヲスルヨリハ、公債ノ發行額ヲ減ラス方ガ全體ニ於テ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、政府ガ減債基金ヲ以テ公債ヲ市價ヲ市場カラ買入レテ、値段ヲ釣上ゲテ、其値段デ公債ヲ發行スル、其後ニナルト何時デモ下リ、公債所有者ハ非常ニ迷惑スル、隨テ一般ノ公債ニモソレガ響クノデアリマスカラ、成ベク公債ノ發行ハ少クスルト云フコトガ宜イノデアリマス、サウ考ヘテ居リマス、而シテ前ニモ申シタ通り、成ベク此一般會計ニ於テハ租稅收入等ニ依ッテ致シテ、公債財源ニ依ルモノハ事業公債ト云フヤウナモノニ限リタイト云フノデアリマス、而シテ茲ニ滿洲事件費ト云フモノガアリマス、是ハ將來ドノ位掛リマセウ

カ、今日迄ノ現在デ考ヘマスルト、先刻申シマシタヤウニ、又本議場デモ申シマシタヤウニ、一千二百萬圓月ニ掛カルト云フコトデアル、之ガドウ變化シテ來ルカマダ分リマセヌ、サウ云フモノガ一方ニアリマス、隨テ此公債ニ付テハ、一時公債發行ニ及ンデ市價ヲ昂上ゲル爲ニ買入レルト云フ政策ヨリハ、モウ少シ此公債ト云フモノ、待遇ヲ、一般ノ會社ノ株券ヤ債券等ト異ル途ヲ執ル工夫ガアルドラウト私ハ考ヘル、併シマダソレハ具體的ニ斯ウト云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、頻リニソレハ研究中デアリマス

○川崎委員 極メテ打明ケタ御説ヲ承リマシテ、其點ハ満足ヲ致シマスガ、私ハ其點ニ付テ斯様ニ思フノデアリマス、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス、成程募債ヲスル前ニ償還ヲシテ置ケバ、募債ノ時ニハ有利デアルガ、後ハ公債ハ下ガルカシテ、公債ヲ持ッテ者ハ損ヲスルト云フ御説、是ハ左様ナコトハ起リマセウ、起リマセウガ、私ハ其釣合ガ大變重大ナ點デアラウト思フノデアリマス、斯様ニ巨額ナ公債ヲ募債ヲナサル時ニハ、償還ノ幅ヲ廣クシテ行クト云フコトガ必要デハナイカ、幅ヲ縮メテ行ケバ、其事ガ尙ホ惡クナッテ行クノデアリマスマイカ、只

今ノ御計畫デハ、一般會計デ三千萬圓、特別會計デ千七百萬圓ト云フモノハ、七年度ノ豫算デ繰入停止ヲナサルヤウニ承リマス、左様致シマス云フト、公債償還ノ全額カラ見マシテ、約七千二百萬圓カ三百萬圓ダト思ヒマスカラ、約二千四百萬圓程ハ償還ナサルモノト思ヒマスガ、此二千四百萬圓ト云フモノハ、ドウデモ斯ウデモ償還ヲシナケレバナラヌモノデ、中ニハ英貨公債、米貨公債ト云フノガアッテ、主ニ外國公債デ、ドウシテモ是ハ御償還ナサラナケレバナラヌモノデヤナイカ、サウシマスト云フト、ドレダケ殘ルカ知レマセヌガ、或ハチットモ殘ラヌノデヤナイカ、内地ノ償還スル公債ト云フモノハマルキリ殘ラヌコトニナルノデヤナイカ、サウナリマス

云フト借財ハ少シモ返サヌ、借金ハスル、斯ウ云フ行キ方デ行キマスナラバ、是ハモウ豫想以上ニ、又發行價格ハ政府デ御考ヘニナッテ居ルヨリ以上ニ不利ナ條件ニナルノデハナイカ、何モ其處ニ緩和スルモノハナイ、少シモ緩和スルモノハナクテ、サウシテ償還ヲスルモノハナクテ、募債ノミデ行クト云フ行キ方、殊ニソシナコトヲ申上ゲルノハ釋迦ニ説法デ、御承知デアリマセウ、申ス迄モナイコトデアリマスルガ、此

財源ヲ御取リニナリマスノニモ、悉ク公債デヤラレテ、サウシテアトハ減債基金ノ繰入停止ト云フコトデ、全ク歳入財源トシテ確定的ノモノハマルキリ無イ、借方バカリダ、是ハ借錢ヲ返シテ行カナケレバナラヌ、何デ返スカ、増稅デ返スカ何デ返スカ知ラヌガ、返シテ行カナケレバナラヌト云フ、非常時デハアリマセウガ、無理ナ財政計畫ヲ立テ、居ル上ニ、公債償還ヲビタツ止メテシマフ、是ハ非常ニ不利益ナコトニナルト私ハ思フノデアリマス、若シアナク

ノ御心配ニナル——發行スル時ニ買入ヲシテ、サウシテ後デ公債ヲ持ッテ者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ事ヲ御心配ナサルナラバ、其償還ノ方ノ幅ヲモウ少シ廣クナサッテ、發行條件ヲヨリ好クナサルト云フコトガ必要デナイカ、斯様ニ思ハレルノデアリマステ承テ見タイト思ヒマス

○高橋國務大臣 少シ意見ノ相違ニナルカモ知レマセヌガ、御承知ノ通りノ國情デアリマス、民間ニ於ケル應募ノ力ト云フモノハ洵ニ頼リニナラス位ノモノデアリマス、而シテ是ガ公債ヲ買入レルトナツタナラバ、此儘ニ現在ノ公債ノ取扱方ニ於キマシタナラバ、賣ルモノハ出テ來マセウ、新ニ募集

スルモノガソレガ爲ニ快ク持ツカト言フト、サウハ行カヌト思ヒマス、ソレ故ニ實際ハ公債ノ發行額ヲ成ベク減ジタイ、是ガ今日ノ狀態デハ一番宜イノデハナイカ、ソレカラ公債ノ優遇法ト云フモノハ、既ニ我國ニ於テモ一部ハアルノデス、保證金ノ如キハ額面デ取ル、今デハ四分利附ノ公債ガ安イモノデスカラ、ソレヲ買ッテ保證金ニ入レル、之ヲ愈、取上ゲタ時分ニハ、政府ガソレヲ買フ義務ガアル、既ニサウ云フ額面デ買フ義務ガアル、ソレハ額面デ償還ヲスルト云フコトニナル、サウ云フ義務ガアル、サウ云フ義務ノモノニハ手ヲ著ケナイデ、政府ガ此市價ヲ高メル爲ニ買入ヲ自由ニスル、サウ云フ分ニ手ヲ著ケタ、公債ノ優遇法ト言ヒマスガ、取扱方ニ付テハ勿論御承知デハアリマセウガ、此區域ヲモウ少シ廣クスル途ハアルマイカト私ハ考ヘテ居ル、外國ノ事ヲ申スモ甲斐ナイヤウナ話デアリマスケレドモ、是モ私ノ曾テ外國ニ居ッテ實際見タ、又聞イタ事デアリマスガ、曾テ我國ノ四分利附公債ヲ英國デ發行シマシタ、第二回ノ四分利附公債、松方大藏大臣時代デアリマス、其時ニ前以テ私が明治三十一年デシタカ、外國ニ出掛ケテ行クノデ、下

踏ミヲシテ來イト云フ内命ガアッタノデ能

ク調ベテ見タ、所ガ勿論御承知デゴザイマセウガ供託「トラスティー」ハ、アノ時分ニハ英國デハマダ今日ノヤウナ會社ナント云フモノガナイノデ、財産ヲ信託スルノニハ、友達ヲ大抵選ンデ信託スル、其信託サレタ財産ハ必ズ「コンソル」ヲ持タナケレバナラス、斯ウ云フ法律ニナッテ居ル、所ガ英國ノ富ガ増加スルニ從テ公債ノ需要ガ殖エテ來マシテ、二分半利附ノ公債ガ額面ヲ超エテ百十六磅マデニ上ッタ、其時此「トラス」信託者ガ如何ニモ二分半利附ノ公債ヲ額面上十六磅モ餘計出シテ買フト云フコトハ、如何ニモ遺産ヲ遺シタ人ニ對シテ、遺族ヤ何カニ氣ノ毒デアルハ、モウ少シ「コンソル」以外ニ範圍ヲ擴メテ貰ヒタイト云フコトヲ、數年政府ニ迫ッテ、其結果倫敦ノ市債ヲ加ヘルト云フコトニナッタ、ソレデ「コンソル」ノ値ガ百十六磅ノモノガ、百四五磅マデ下ッタ、サウ云フ實例ガアル、併ナガラ日本デ丁度四分利附公債ヲ發行スル場合ニ臨ンデ、突然ト南阿ノ戰爭ガ起ッタ爲ニ、英吉利ノ公債ガ澤山ニ出タ、其爲ニ政府ノ考ヘタヤウナ譯ニハ行キマセヌデジタ、サウ云フ事件ガ突發シタ爲ニ、サウ云フ風ニナッタ例モアリマスカラシテ、公債ト云フモノハ有價證券中デ最モ確カナモノデ

ナケレバナラス、公債ガ反古ニナル時ハ即チ國ノ運命ニ關スル位ノモノデアル、ソレ程ノモノデアリマスカラ、今ノヤウニ我國デハ市場ニ於テモ、取引所ニ於テモ、公債モ社債モ株券モ一樣ナ取扱ヲシテ居ルト云フコトハ、ドウモ當ヲ得テ居ラナカラウト云フコトヲ私ハ其當時カラ考ヘタ、今日モ其考ヲ持ッテ居ル、市價ヲ高メル爲ニ一時買入レルト云フコトモ結構デアリマスガ、其力ガ今日我國ニナイノデ、其取扱方ニ於テ公債ヲ所有スル範圍ヲ擴メル、或ハ發行價額ニ依テ考課狀ニソレヲ載セルコトガ出來ルトカ、サウ云フヤウナ方法ニ依ッテ公債ノ市價ニ餘リ變動ノナイヤウニ——維持サレルヤウニシタイト云フノガ私ノ今日懷イテ居ル考デアリマシテ、ソレハマダ研究中デアリマスカラ具體的ニ斯ウダト云フコトハ申兼ネマスケレドモ、私ノ考ハサウ云フコトデアリマス

○川崎委員 公債ヲ償還以外ノ方法ニ依ッテ優遇ノ方法ヲ考ヘル、是モ必要ナコトデアリ又御尤モナコト、思ヒマスルガ、根本的ニ公債ヲ償還スルト云フコトノ目度ガアッテ、其事ニ依ッテ公債ノ市價ガ保タレテ行タト云フコトガ一番大切ナ點デアルト私共ハ見テ居ルデアリマス、殊ニ申スマデモナク財政計畫自體ノ上カラ見マシテモ、公債ノ償還ハ何時セラレルモノデアルカト云フコトデ、先ガ分ラヌ、募債ノミシテ行クト行フコトデアレバ、財政ノ基礎ガ危クナルヨリ外ハナイ、殊ニドナ優遇條件ヲ御作リニナッタ所デ、ソレハ枝葉末節ノコトデ、此根本ノ方ノ償還ヲ早メナイデ置イテ、公債ノ市價ヲ維持ナサラウト云フコトハ、全ク枝葉末節ナコトデアルト思フノデアリマス、此點ニナリマス、大藏大臣ノ仰シヤル意見ト、吾々ハドウシテモ根本ニ意見ノ相違ガアル、私共ハ日本ノ財政ヲ鞏固ニシテ行ク意味カラ、公債ノ償還、法定償還ト云フノハ、必ズ之ヲ行フテ行カナケレバナラスモノデアアル、又非常ニ募債ヲ多クヤラナケレバナラス時ハ、寧ロ其幅ヲ擴メテ調節ヲ取ッテ行クト云フコトヲ必要ト思ッテ居ルノデアリマスカラ、此點ニナリマスト根本ニ意見ノ違フコトヲ感ズルカラ、減債基金ノ問題ニ付テハ是レ以上御尋ラスルコトハ止メマス

更ニ金ノ再禁止ノ問題ニ就キマシテ伺ヒタイノデアリマスルガ、此問題ニ就キマシテハ先程本會議デ小川君カラ御質問ヲ致シマシテ、ソレニ對スル御答ヲ得テ居ル所アリ、得テナイ所アリ、御答ヲ得テ居ッテモ不明ナ點ガアリマスノデ、成タケ不明ナ點ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

第一ニ金ノ再禁止ヲスルコトニ依テ直接ドウ云フ影響ガ來ルカト云フコトニ就キマシテハ、大藏大臣ガ一月二十二日ノ貴族院ニ於テ、衆議院ニ於テ、御述ベニナッテ居リマスルコトガ、即チ其理由ノ最モ重大ダト思フ點デアラウト思フノデアリマス、其說ヲ拜聽致シマスルト云フト、此金ノ輸出再禁止ハ國民ノ多數ヲシテ總括的ノ窮乏、苦惱カラ脱出セシメテ、總テ産業ヲ振興シ、生活ノ安定ニ向ハシメルモノデアルト云フコトヲ御述ベニナリマシテ、隨テ爲替相場ガ低落シテ、物價ガ對内的ニハ騰貴スルケレドモ、對外的ニ却テ低落スルカラシテ、國內ノ産業ノ刺戟トナリ、延テハ外國貿易ニ好影響ヲ齎ラス、斯ウ云フ風ニ御述ベニナッテ居ルノデアリマス、此金ノ再禁止カラ來ル結果ヲ二ツニ分類セラレテ、一ツハ國內的ニ及ス影響ト、對外的ニ及ス關係ト、二ツニ區別ラシテ御述ベニナッテ居ルノデアリマスガ、先ヅ其中デモ本日ノ議場デモ御話ニナリマシタ如ク、對外的ナ貿易ノ方ヲ寧ロ輕ク御扱ヒニナッテ、對内的ト云フ方ヲ重キニ置カレテ論ジテ居ラル、ヤウデアリマス、ソコデ私ハ伺ッテ見タイト

思ヒマスルコトハ、其結果對内的ニ國內産業ノ刺戟ナリ、ソレカラ外國貿易ニ好影響ト言ヘバ、是ハ輸出方良クナルト云フコトニナルノデアリマセウガ、左様ナ狀況ガ現實ニ現ハレテ居リマセウカ否カ、現ハレテ居リマスナラバ、ドノ點トドノ點トガ左様デアルカト云フコトヲ、簡明ニ具體的ニ承テ見タイト思フノデアリマス、先ヅ其點カラ一ツ伺テ見タイト思ヒマス

○高橋國務大臣 金ノ再禁止ト云フコトハ、若シ之ヲ禁止セズニ、前内閣ノ執ラレタ方針ニ依テ行キマシタナラバ、此十二月節季カラ舊節季ニ互ッテハドウナルカ、抑、高金利政策ニ依テ金ノ輸出ヲ自由ニシテ居ル、サウシテ其金ト云フモノハ御承知ノ通り十億以上アツタモノガ、今日ハ四億三千万圓ニ減ッタト云フヤウニ、解禁以來、金ガ出タ、高金利ノ害ト云フモノモ亦、内地ノ銀行ニシロ、事業會社ニシロ、農家ニシロ、皆是ハ及ンデ居リマス、デ當局ガ好キデアルト嫌ヒデアルトニ拘ラズ、ドウシテモアノ際ニ於テハ金ノ輸出ヲ再禁止スルト云フコトガ根本ノ政策ナンデアル、行詰ッテ財政經濟ノ建直シノ根本政策トシテヤッタコトデアル、ソレカラ其結果ハドウ内外ニ現レテ居ルカ、マダ再禁止以來日モ淺イコト

デアリマスカラ、澤山ノ實例ヲ舉ゲルコトハ困難デアリマセウガ、大體ニ於テ先ヅ國民ノ氣分——高金利政策金解禁政策ヲヤッタ結果ト云フモノハ、財界ハ何處マデモ暗黒世界ノヤウナ感じヲ一般國民ガ有ッテ居ル、明リヲ見ナイ、此政策ノ變化ニ依ッテ氣分ダケハ確ニ變ッテ居ルト思フ、ソレカラ今日デモ爲替相場ガ下レバ印度其他カラノ注文ガ忽チ來ル、綿絲、綿布、ソレカラ近頃ハ「ビール」マデモ出ルヤウニナッタ、又「セメント」ナドモ出ルヤウニナッタ、先達此爲替相場ガ少シ高クナッタ時分ニハ一寸其注文ガ控ヘラレタ、是ハ大阪ノ實業家カラ聞イタ話デアリマスガ、又實際サウ云フヤウニ近頃印度方面邊リカラハ綿絲「セメント」「ビール」ト云フヤウナモノ、ソレニ尙ホ織物ノ機械マデモ注文ガ出ルヤウニナッテ來タ、我國デ發明サレタ織物機械ガ「ブラット」ノ機械ヨリハ效果ガアルト云フコトガ立證サレテ居ル、此印度邊リデハ皆御承知ノ通り澤山ノ機ヲ用ヒル、是モソロ／＼注文ガ出ルヤウニナッテ來タ、海外ニ對シテハサウデアル、内ニ於テハ先ヅ物價ガ高クナッタト云フダケ思フ吐イタト云フコトガアル、是ガ好景氣ヲ直ニ現ハスト云フヤウナコトハ私ハ思ッテ居ラス、ソレ故ニ常

ニ誠メテ居ル、此景氣ニ乗ッテ浮薄ニナッテハイカス、何處マデモ堅實ニシテ行カナケレバナラス、緊張シナケレバイカヌト云フコトヲ常ニ誠メテ居ルノデアリマス、何分マダ日ガ淺イモノデアリマスカラ、實際ニ付テノ結果ハ大體ニ於テ申上ゲルヨリ外途ハアリマセヌ

○川崎委員 只今ノ御説明ヲ伺テ見マス

ト云フト、對外貿易ノ方ハ多少ノ注文ガアルト云フコトヲ御述ニナリマシタ、注文ガアルカ知レマセヌケレドモ、輸出ハ昨年ト比較シテ殖エテ居リマセヌ、數字デハサウナッテ居リマス、ソレハ箇々のニハ左様ナモノガアリマセウ、アリマセウケレドモ殖エナイノハ色々ナ原因ガアリマセウガ、ヤハリ爲替安ノ關係ヲ見テ見送りヲシテ居ルト云フコトモアリマセウ、又世界的ノ不況ノ爲ニ需要ガ減退シテ居テ、輸出ガ振ハスト云フコトモアリマセウ、其原因ハ多々アリマセウガ、只今御説明ニナリマシタヤウニ、爲替ガ安クナッタカラ注文ガ激増シタト云フヤウナ數字ハ、一寸見當ラナイノデアリマス、ソレカラ國內のノコトヲ私ハ先ヅ先ニ伺ッタノデアリマスガ、國內のノコトニ付テハ唯氣分ダト云フコトヲ言ハレルダケテ、具體的ノ説明ヲ少シモ承ルコトガ出來ナイノヲ遺憾ト致シマス、私共

考ヘマスノニ、マダ不十分デアリマスケレドモ、私共ノ寄セマシタ多少ノ材料ヲ根據ニシテ見マス、ドウモ國內産業ガ刺戟トナッテ振ウテ來テ、サウシテ大藏大臣ノ仰セニナリマシタヤウナ傾向ニハ來ナイ、成程爲替ガ三割五分、四割低落シテ、サウシテ國內物價ハ二月デ押ヘレバ一割六分程ハ上ッテ居リマス、併ナガラ此物價ト云フモノモ購買力ノ伴ハナイ物價デアルト云フ證據ハ、最近ニナッテ著シキ狀況ヲ現シテ居リマスモノハ、卸賣物價ト小賣物價ガ接近ヲ致シテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ東京ノ小賣相場及卸賣相場ノ二月三月マデノ統計ハ、日本銀行ノ調査ニ依ッテ分ルノデアリマスガ、段々接近シテ參ッテ居リマシテ、殆ド近イモノニナッテ來タ、卸賣ト小賣トノ接近シタ狀況ト言ヒマスノハ、最近ニ一寸見ナイ現象デアリマス、金解禁當時ニハ斯様ナ現象ハ見マセヌ、開キハアツタ、ソレハ卸賣ノ思惑ガ殖エテ、消費者ノ手ニ移ラナイ物價ガアル、其爲ニ物價ハ二月カラ三月ニ掛ケテ少シ下リ氣味デアリ、ソレカラ又小賣相場ガ下リ氣味デアリ反對ニ卸賣相場ガ上リ氣味デアルト云フ風デ、殆ド接近シテ參リマシタ、是ハ全國ノ統計ヲ見マシテモ、商工省ノ統計ヲ見マシ

テモ、其數字が出テ居リマス、是ハ消費者ノ購買力ガ増進シテナイト云フ明カナ兆デアルト見ナクチャナラヌト思ヒマス、又鐵道省ノ荷物ノ輸送高ノ噸數ナンカラ調べテ見マシテモ昨年ノ一月二月ニ比較致シマシテ約五分弱程ハ殖エテ居リマス、殖エテ居リマスガ、反對ニ日本倉庫ノ聯合會ニ於ケル調査ヲ見マス、倉庫ノ在庫品ト云フモノガ馬鹿ニ殖エタ、是ハドウ云フ譯カト云ヘバ見越輸入ヲシテ在庫品ガ殖エテ、サウシテ市内ニハ購買力ガナイ爲ニ「スト・ク」シテ居ルト云フノガ現狀デアリマス、是ハ倉庫會社ノ調べデアリマスガ、殊ニ紡績會社ノ如キハ、鐘紡ナンカ倉庫ガ滿員デアルト云フコトハ御承知ノ通りデアル、サウ云フ風ニ在庫品ガ殖エテ賣レテ行カス、足取ガ悪い、是ガ即チ購買力が出テ居ナイ證據デアル、物價ガ多少上ツタト云フコトハ、爲替ノ反動ヲ受ケテ上ツテ居リマセウシ、先ニ通貨膨脹ヲ見越シテ上ツテ居リマス、物貨ハアリマセウケレドモ、本當ノ消費者ニ移ル物貨ト云フモノハ上ツテ居ナイ、景氣ガ出ルナラバ其處カラ起テ來ナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、マダ再禁止ヲシタバカリダカラ其處ニハ行カスト仰シヤレバソレマデアリマスガ、事實ハサウ云フヤウ

ナ徴候ガ現レテ來ナイ、現レテ來ナイノニ對シテハドウナサル御考デアリマスカ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ラレテ、必ズソレニ對シテハ對案ガ御有リノコト、思フノデアリマス、其對内策ニ對シマス——之ヲ先ヅドウ云フ風ニ轉換スルカト云フコトノ具體的ナ御考ガ御有リデシカラ承テ見タイト思フノデアリマス

ル、然ルニ近頃ハ淺草ナリ、神田ナリ、ソレゾレ小賣商ガ團結シテ、或ハ問屋ノ手ヲ經ズシテ直接生産者ニ連絡ヲ取ツテ、安イ物ヲ買入レルト云フコトニ非當ニ努力シテ居ル、私ノ知ツテ居ル者デモ、果物類、水菓子、ア、云フモノ、其他日用必需品トシテ使ハレルモノニ付テ、ソレノ小賣商ノ團結ガ出來テ、成ベク間ノ費用ヲ省キ、銘々ガ努力シ勉強シテ、サウシテ大ニ御得意ニ對シテ満足ヲ與ヘタイト云フノハ、一ツハ「デパートメント」ト云フモノニ苦シメラレルト云フ最初ハ考デアッタ、之ニ對抗スルニハ小賣商人ノ同業者ガ團結シテ抵抗スルヨリ外ニ途ガナイト云フコトニ眼ガ覺メマシテ、ソレハ隨分進ンデ居ルヤウニ考ヘマス、デスカラシテ却賣ト小賣商トノ幅ガ狭クナタト云フコトヲ以テ、一概ニ購買力ガ伸びシト云フコトノ斷定ハ御無理カト思ヒマス、ソレカラ對内的政策ニ對シテドウスルカト云フコトデアリマスガ、私ハ先ヅ第一ニ金融制度ト云フモノガ根本デアラウト思フ、今ノ所デハ各銀行ガ連絡モナク、サウシテ貸シタ人、或ハ又新ニ借リントスル人ニ對シテモ融通ヲシナイ、或ハ又大銀行ニナルト、日本銀行ニ行ッテ金ヲ借リルノハ恥ダト言ッテ、貸シタモノヲ取上ゲテモ日本銀

行ニハ借りニ行カスト云フヤウナ事情ガ生ジテ居ル、ドウシテモ我國ノ對内政策ハ、其根本ハ金融制度デアル、金融ト云フモノハ、唯銀行者ノ仕事ダトノミ一般ノ人ハ考ヘテ居リマスケレドモサウデハナイ、吾々ノ如キ何モシナイデ居ル者デモ、今日ノ生活上ニ金融制度ト云フモノハ大ニ響クノデアリマス、此金融制度ヲ革新シテ、金融ノ統制連絡ト云フモノガ大切デアリマス、其途ヲ今考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ根本政策ト申上ゲテ宜シカラウト思ヒマス、内地ノ產業政策ノ根本トシテハ此金融制度ニ重キヲ置イテ居リマス

○大口委員長 一寸大藏大臣ニ申上ゲマスガ、一々御立チニナラズトモ宜イト思ヒマス、併シ御都合デ御立チニナルノガ御便宜ナラ御立チニナツテ宜シウゴザイマス

○川崎委員 大藏大臣ノ御説明ノ中ニ、私ノ御尋致シマシタ卸賣ト小賣ノ接近ヲシテ來タコトガ消費ノ伸びナイ證據デアルト云フコトヲ私ガ申上ゲタニ關シテ、色々實例ヲ舉ゲテ、東京市内ニ於ケル需要者ガ直接卸賣人カラ取テ居ル實例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、私ノ今申上ゲマシタ統計數字ハ過去一二年間ノ卸賣小賣ノ開キヲ見テ居ル、東京市内ニ於テハ昭和六年ノ三月ヲ百

ナ徴候ガ現レテ來ナイ、現レテ來ナイノニ對シテハドウナサル御考デアリマスカ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ラレテ、必ズソレニ對シテハ對案ガ御有リノコト、思フノデアリマス、其對内策ニ對シマス——之ヲ先ヅドウ云フ風ニ轉換スルカト云フコトノ具體的ナ御考ガ御有リデシカラ承テ見タイト思フノデアリマス

○高橋國務大臣 御承知ノ通り貿易ハ各國共ニ自給自足ノ方針ヲ執ッテ、ソレノ關稅政策ニ依ッテ成ベク他國カラ這入ルモノヲ防イデ、自國ノ產業ヲ發展サセルト云フ方針ニナツテ居リマス、尤モ世界中購買力ノ減タト云フコトモアリマスケレドモ、貿易上ノ支障ハ各國共ニ關稅ノ障壁ヲ築イテ居ルト云フノガ主ナル妨ゲニナツテ居リマス、ソレカラ内地ノ事ヲ統計ニ依ッテ御話デスケレドモ、統計ト云フモノハ必ズ取方見方ニ依ッテ實際ニ當嵌メテ之ヲ活用シテ行カナケレバナラヌ、利用シテ行カナケレバナラヌノデアリマス、卸賣相場ト小賣相場ト云フモノガ近付イテ來タト云フコトガ、必ズシモ一般ノ購買力ガ伸びナイ現象ダトシテ斷定ハ出來ナイ、都會ニ於ケル小賣商ト云フモノハ、外國ニモ餘リ見ナイヤリ方デア

○大口委員長 一寸大藏大臣ニ申上ゲマスガ、一々御立チニナラズトモ宜イト思ヒマス、併シ御都合デ御立チニナルノガ御便宜ナラ御立チニナツテ宜シウゴザイマス

○川崎委員 大藏大臣ノ御説明ノ中ニ、私ノ御尋致シマシタ卸賣ト小賣ノ接近ヲシテ來タコトガ消費ノ伸びナイ證據デアルト云フコトヲ私ガ申上ゲタニ關シテ、色々實例ヲ舉ゲテ、東京市内ニ於ケル需要者ガ直接卸賣人カラ取テ居ル實例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、私ノ今申上ゲマシタ統計數字ハ過去一二年間ノ卸賣小賣ノ開キヲ見テ居ル、東京市内ニ於テハ昭和六年ノ三月ヲ百

ト致シマシテ、昭和六年ノ一月カラ昭和七年ノ一月マデヲ見マスト、卸賣ガ百二十七八カラズツト下ッテ參ッテ居ル點モアリマスケレドモ、小賣ガ百四十ト云フヤウナノデ、其處ニ十二三ノ開キガアリマシテ、其開キガズツト繼續シテ居ルノデアリマス、只今御舉ゲニナリマシタ東京市内ニ於テノ狀況ハ斯ウナッテ居ルト御話シニナリマシタケレドモ、過去ノ事實ヲ押ヘテ御話シニナッテ御答辯ハ、此數字ニハ當ラナイ、最近ノハ段段接近シテ參リマシテ、殆ド三月アタリニナッテハ開キハ少クナッテ居リマス、是ハ日銀ノ調デアリマスカラ御手許ニアルデアラウト思ヒマスカラ、只今ノ御説明デハ御説明ニナラヌト思フノデアリマス、ソレカラドウ云フ風ニ國內ノ産業政策ヲ建直スカ、斯ウ云フ質問ニ對シテ御答ヘニナリマシタノハ、金融制度ヲ改善スルコトデアリマ스가、是モ一ツデアリマセウ、アリマセウケレドモ、私ハ只今御話ニナリマシタ關稅ノ問題ノ如キハ最モ急ヲ要スル問題デハナカラウカ、關稅ノ障壁ガアル爲ニ貿易ガ惡イト云フコトモ是ハ事實デアリマス、併ナガラ今日ハドノ國モドノ國モ關稅ヲヤライ國ハナイト云フ譯デ、大正十五年以來日本ハ關稅ヲ弄ラントシテ居リマシタノデスガ、

一二年前から著シク各國ノ關稅政策ガ變化ヲシテ參リマシタノハ御承知ノ通りデアル、自由貿易國ノ英吉利デスラモ關稅政策ヲ建直シテ居ル、和蘭ハ勿論デアリマスルシ、佛蘭西モ御承知ノ通り支那ノ如キモ二度モ關稅ヲ變ヘテ居ル、斯ウ云フコトデアッテ、日本ハ今關稅ノ障壁ガナイ爲ニ「ダンピング」ノ棄テ場所ダト云フコトニナッテ居ル、是ハ産業ヲ保護スル上カラ言ッテ一番大切ナ眼目デハナイカ、貿易ノ上ニハ支障ニハナリマセウガ、内地ノ重要産業ノ保護政策ヲ立テ、行クト云フ建前カラ行ケバ、是ハ必要デハナイカ、殊ニ爲替「ダンピング」ノ關係カラ來ルモノハ尙更必要ガアル、斯ウ云フ譯ニナル、サウ致シマスト是ハ急イデオヤリニナラナケレバナラヌ仕事デアッタト私ハ思フノデアリマス、是ハ臨時議會ニ御出シニナラナケレバナラナイモノデヤナイカ、一日モ急イデオヤリニナルベキ問題デハナイカ、私ハ斯様ニ思フガ、ドウ云フ譯デオヤリニナラナカッタカト云フコトヲ伺ヒタイノト、ソレカラ政友會ノ政策トシテ御發表ニナッテ居リマス産業五箇年計畫、是非非常ナ急ヲ要スル問題デアル、軍事實費ハ成程急デアリマセウ、急デアリマセウケレドモ、金ノ再禁止ヲ爲サツテ、サウシ

テ内地ノ産業ノ建直シヲスルノダト云フヤ
ウナ場合ニ、産業總動員、經濟上ノ建立シ
ト云フ、斯ウ云ウヤウナ場合ニハ急イデ之
ヲオヤリニナラナケレバナラナカッタ政策
デヤナカラウカ、之ヲ今年ノ議會ニ御出シ
ニナラナカッタト云フノハ、案ガマダ未熟デ
アッタカラ出サナカッタト云フノデアラウカ
ト思ヒマスケレドモ、左様ナモノデハナイ、
關稅ノ方ハ大體調モアリマスシ、ソレカラ
産業五箇年計畫ノ方ハ黨ニ於テ調ガアルノ
ダカラシテ、何ヲ差措イテモ此政策ハ黨ノ
政策トシテ急イデ遂行シナケレバナラヌト
云フコトデ、御出シニナラナケレバナラヌ
モノデアッタと思フガ、是ハドウ云フ譯カ其
點ヲ御出シニナラナカッタノデアリマスカ、
之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○高橋國務大臣 關稅ノコトモ考ヘテ居ル
ノデアリマス、是ハ既ニ金再禁止ヲシタノ
デ、只今爲替相場ガ、例ヘバ三割五分下ッテ
居ルト云ヘバ、ソレダケ關稅ヲ増シタト同
ジ效果ヲ持ツ、併シ是デハ満足出來ナイ、
ソレ故ニ今調査シテ居ル所デアリマス、此
短期ノ臨時議會ニ出ス迄ニハマダ具體的ニ
案ガ完成ヲ告ゲズニ居ルノデス、何レ五月
頃迄ニハ又臨時議會が開ケルト思ヒマスカ
ラ、其時分ニハ實行豫算モ出來上リ、サウ

云フ政策モ出ス積リデアリマス、又政友會ノ五箇年計畫ト云フコト、是モ事柄ニ依ッテ、今日ノ國情ニ鑑ミテ緩急モ圖ラナケレバナラヌ、輕重モ圖ラナケレバナラヌ、兎ニ角國ノ力ニ相當シタルモノヨリ外ニ仕事ハ出來ナイノデアリマスカラ、悉ク政府ガスルト云フ譯ニハ行カヌ、民間ノ人モ其氣分ニナッテ呉レナケレバナラヌ、産業政策ヲヤルカラ必ズソレガ公債ノ増發ニナルトバカリハ考ヘラレナイ、成ベク民間ノ人ガ團結シテ、銘々個人ノ自己ノ利益バカリヲ圖ラズニ、同業者ハ其業ノ利益ヲ圖ルト云フ方ニ仕向ケテ行カナケレバナラヌ、サウ云フ考デ、決シテ此産業五箇年計畫ヲ棄テハシナイノデス、ヤル積リデ居ルノデスガ、此議會ニ出セヌト云フモノハ、マダサウ云フ事ノ調査ヲ完成ヲスル遑ガナイノデアリマス、殊ニ此滿洲事件費、是ガ何時マデ續キマスカ、是モ大體見當ガ付キマセヌト、財政ノ上ニ見當ガ付カナイ、一日モ早クサウ云フ見當ガ付クヤウニ時勢ガナランコトヲ偏ニ希望シテ居ル譯デアリマス

○川崎委員　此聲ハ獨リ私共ガ申上ゲルノデナクシテ、政府與黨ノ懇談會ノ席上ニ於キマシテモ——本月十一日ノ總會ノ席上デ、政友會ノ東總務ガ述ベテ居ラレル中ニ、

斯ウ云フコトヲ言テ居ルノデアリマス、最近各方面ニ於テ政府ノ金再禁止後ニ於ケル施設ノ何等見ルベキモノナク、國家經濟ノ改善、國民生活ノ安定ノ期待ニ副ハザル旨ノ非難ガアル、對外緊急對策モ勿論デア

ル、一日モ速ニ我黨ノ政策ヲ實現シ、國民ヲシテ失望ナカラシメナケレバナラヌト云フコトヲ言テ居ラレノデアリマス、是ハ黨ノ聲デアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ聲ガアルノデアリマスカラ、其聲ニ聽カレテモ、急イデ是等ノ政策ヲ御實行ニナル爲ニ、臨時議會ニ御提出ニナラナケレバナヲ筋ノモノデアルト私共ハ思フ、ソレハマダ間ニ合ハナカッタカラソコニ至ラナカタ、又滿洲事件費ノ見込モ付カヌカラト云フコト、是モ御尤デアリマス、御尤デアリマスケレドモ、黨トシテハ先ヅ第一内地ノ産業ヲ良クシテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ御唱ヘニナッテ居ルノデアリマスカラ、其點ヲ急イデ御ヤリニナラナケレバナラス性質ノモノデアッタと思フ、之ヲ臨時議會ニ提出セラレナイト云フコトハ私ハ政友會トシテ、又現内閣トシテ、政策ノ上ニ忠實ナモノデナイト云フ感ナキヲ得ナイノデアリマス、洵ニ其點ハ遺憾ニ存ジマスルガ、唯、一點此點ヲ伺テ置キタイ、若シ御提出

ニナルトスルナラバ、無論臨時議會ニハ産業五箇年計畫ノ方ハ出スト仰シヤッタガ、關稅ノ方ニ付テハ、ドウ云フ御考デアリマスカ、是モ承ッテ置キタイ

○高橋國務大臣 關稅ノ改正ニ付キマシテハ、具體的ニ申上ゲマスト云フト、或ハ見越輸入トカ色々ノ弊害ガ起リマス、無論サウ云フ弊ノ成ベク少イヤウニト云フコトハ、時々ノ政府ガ注意シテ居ル事デアリマスカ、今御答ハ出來マセヌ、併シ方針トシテハ、私ノ關稅ニ就テ懷イテ居ル方針ハ從來カラ保護貿易デス、併シ其保護貿易ト云フノハ、政府ノ歲入ヲ殖ヤス爲ニ關稅ヲ高クスル、斯ウ云フ事ハ探ラヌノデ、我國ノ幼稚ナル産業ガ、將來五年ナリ、七年ナリ之ヲ關稅ニ依テ保護スレバ立派ニ成立ツ、サウ云フ見込ノアルモノハ現在ノ人ガ多少高イ物ヲ買テモ、後世ノ爲ニソレハ忍ネババナラス、即チ五年、七年關稅ニ依テ保護スレバ内地ノ産業ガ發達スル、或ハ新タナル事業ガ起ルト見タナラバ、ソレハ後世ニ益ヲ與ヘルモノデアルカラ、現代ノ人ガ後世ノ爲ニ其間高イ物ヲ買フト云フ事モ已ムヲ得ヌ、斯ウ云フ考デアリマス、併シ我國ニ成立ツ見込ノ無イモノニ關稅ヲ課ケテ無暗ニ保護スルト云フコトハ、其當業者一部

ヲ利益スルノデ、何等將來國家ノ爲ニナラヌ、サウ云フコトハ私ハ探ラスノデアリマス、大體ノ方針トシテハ關稅政策ハ只今申上ゲタ通り——勿論奢侈品ハ別デアリマスケレドモ、サウ云フ方針デ今調査ヲシテ居ルノデアリマス

○大口委員長 川崎君マダ大分アリマスカ

○川崎委員 私ノハサウアリマセヌ、御聽キノ通り極ク必要ノ程度ヲ伺テ居リマス……

○大口委員長 委員長ガ制肘ヲ加ヘル譯デハアリマセヌガ、成ルベク縮メテ願ヒタイ

○川崎委員 對外貿易ノ關係ノ方ヲ伺ヒマスカ、先程本會議ニ於テモ問題ニナリマシテ質問ノアッタ事デアリマシタガ、先ヅ對外貿易ノ關係ノ現狀ガ惡クナッテ居ルト云フコトハ御覽ノ通りデ、輸入ガ一億二千八百万圓モ此三月ノ中旬迄ニ殖エマシテ、昨年ノ同期ニ比較致シマスト、昨年ノ同期ハ二千四百七十七萬圓デアリマスカラ、昨年ト比較スルト一億八百万圓以上ノ輸入ノ激増ニナッテ居ルト云フ狀況デアリマス、此輸入ノ激増ノ原因ハ何處ニ在ルカト言ヘバ、是ハ大體ニ於テ見越輸入ト云フコトニ見テ宜カラウト思フノデアリマスカ、此輸入ノ激増ノ原因ヲ大藏大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘニ

ナッテ居リマセウカ、ソレヲ伺テ見タイノデアリマス

○高橋國務大臣 今御話ノ一月、二月、三月ト輸入ノ激増シタルコトハ、主ニ棉花、羊毛ニアルヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ思惑ト云フコトハ、金ノ解禁ノ時ニモ思惑ガアリ、又再禁止ノ時ニモ思惑ト云フコトハアリマス、併シ羊毛ナリ、棉花ナリヲ買フ商賣人ハ、先ヅ第一ニ產地ニ於テ今ガ約束ノシ時ダト思フ所ニ眼ヲ著ケル、產地ノ相場ガ先ヅ是ガドン底ニ來タト云フヤウナ見込ガ立タ時ニ澤山約束ヲスル、羊毛モ亦其通りデアアル、併シ一方ニ於テハ又需要ノ捌ケロモ考ヘテ居ルノデアアル、聞ク所ニ依リマスト、棉花ナドハ先ヅ八月迄ノ原料ガ備テ居ル、而モ其原料ニ付テハ、既ニ殆ド約定済ト云ッテモ、其約定ガ必ズ約定シタ人ノ利益ニナルカ、或ハ見込違ヒデ損ニナルカ分リマセヌ、併ナガラ棉花ヲ澤山輸入シテ來タガ八月迄ノ分デ、尙ホマダ其上買フカ、買フマイカト云フコトヲ今考ヘ中ダト云フコトモ聞イテ居リマス、此一月、二月、三月サウ云フ時ニ當ッテ、著シク、輸入ガ殖エタ、是モ輸入ヲ容易イ原因ハ何カト云フト、所謂弗買——弗買ト云フモノヲ一概ニ非國民呼ハリスル方モアリマ

スケレドモ、私ハサウハ考ヘナイ、最早日本ノ金貨本位ノ維持ノ出來ナイト云フコトハ、初メカラ疑フテ居ル、第一ニ引揚ゲタノハ外國ノ資金、外國銀行、外國人ノ内地ニ於テ營ンデ居ル事業——商賣、其資金ト云フモノヲ大概引揚ゲテシマツタ、ソレデスカラシテ機敏ナ商賣人ハ、此勢デ行ッテハ日本ハ長ク金貨本位ノ維持ガ出來ナイト云フコトノ見透シガ付ク位デアアル、ソレ故ニ今ノ内ニ綿ナリ、羊毛ナリ、輸入品ノ代價ヲ備ヘテ置クガ宜イト云フノデ、其用意ヲシタ者ガ随分アルノデアアル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、今輸入品ガ澤山入ッテ來テモ、既ニサウ云フ譯デ、代價ハ拂濟ニナッテ居ル、ヤハリ是ハ一年ズツト經過シタ實績ニ依ッテ、判斷シナケレバナラヌ、僅カ一箇月、二箇月、三箇月位ノ成績ニ依ッテ、將來モ此通りダト云フコトハ斷定シ難イノデアリマス、國際間ノ貸借、此貿易關係ノコトハ、先ヅ一箇年ヲ通ジテ見ナイト云フト、正鵠ヲ得ル譯ニハ行カヌト思フノデアリマス

○大口委員長 一寸川崎君ニ申上ゲマサガ、成ルベク私ハアナタ方ノ御質問ヲ満足サシタイト實ハ考ヘテ居リマスガ、此處ニ出デ居ル問題ハ御承知ノ通り滿洲事件ニ關スルコト、其外ノコトハ金貨兌換禁止ニ關

スルコトノ承諾案デスカラ、金再禁止ノコトヲ御聽キニナリマスノハ、當ッテ居ルト思ヒマスガ、ソレカラ此貿易ノ細カイコトニ入ッテ來マスト、實ハ少シ問題外ノヤウニモ考ヘマスカラ、ドウカ成ルベク……

○川崎委員 委員長ノ御説トモ思ヒマセヌ、ソレハアナタノ仰シヤルコトハ取違ヒデス

○大口委員長 私ハ決シテ掣肘ハシマセヌガ、其邊ハドウカ御注意ヲ願ヒタイ、他カラ非難ガアッテモイケンイト思ヒマスカラ、私トシテハ御注意ダケ申上ゲテ置キマス

○川崎委員 イヤ、非難ノアラウ筈ハナイト思ヒマス、此金問題ノ中心ニ觸レタ問題ヲ今伺ッテ居ルノデ、此金問題ガ爲替ノ問題ノ中心ニナッテ居ル、所デ此見越輸入ノ問題ハ、爲替安ノ關係カラ來テ居ルト云フコトヲ私ハ尋ネテ居ル、是ガ一番中心ノ問題デ、問題ハ何處ヘモ外レテハ居ナイ、一番大切ナ問題デアアル、アナタガサウ云フコトヲ仰シヤルコトハ、一寸困ル(同ジコトヲ繰返スカラダ)ト呼フ者アリ(同ジ事ハ決シテ繰返サナイ、初メテ對外物價ノ問題ニ觸レテ來タノデ、一寸モ私ハ外ノコトニ觸レテ居ナイ、チャント區別シテ尋ネテ居ルノ

デアリマス

○大口委員長 意見ガ違ヘバ已ムヲ得マセヌガ、玆ニ問題トナッテ居ルノハ、兌換券ヲ金貨ト換ヘルコトノ禁止ノ緊急勅令ニ關スル承諾案デスカラ、初メカラ私ハ金再禁止ヲ何故シタカト云フコトヲ御問ニナル迄ハ宜シイト思ヒマスガ、其又本ヘ入ルト云フコトニナルト、際限ガナイコトニナリハセヌカト思フカラ、一應御注意ヲ申上ゲルノデアリマス

○川崎委員 委員長ニ申上ゲマスガ、私ハ其本ヘ入ルニ當ッテ、今大藏大臣ノ御答辯ノ中ニ、再禁止ヲシナケレバナラナイ事情ハ、斯ウ云フ風デアッタト云フヤウナコトヲ御述ベニナッタノデアリマスガ、ソレハ私ガ問フテ居ルコトデハナイ、ソレハ問題外ノコトデス、私ハ再禁止後ノ問題ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、ソコヲ私ハ御尋シテ居ルノデアリマス、寧ロ問題外ノ方ニ入ラレルノハ、大藏大臣ノ方デアリマスカラ、ソコヲ御注意爲サルナラ、私ニ御注意爲サラズニ、大藏大臣ニ御注意ヲ爲サルノガ必要ダト思ヒマス

○大口委員長 大藏大臣ニ御注意スベキ時ニハ又御注意致シマス

○川崎委員 私ハアナタノ言フコトヲ守ッテ居リマス、私ハ左様ナコトハ致シマセヌ——ソレデ爲替安ノ關係ガ、此見越輸入ノ大體ノ原因ダト思ヒマス、ソレハ大藏大臣モ先程御説明ニナリマシタ如ク、買時ト云フモノハ、爲替ハ是カラマダ安クナル、マダ安クナルト思ヘバ、今買ッテ置イタ方ガ、得ナンデスカラシテ、ソレデ買時ダト云フコトニナル譯デス、ソレデスカラ、爲替安ヲ見越シテ、二十五弗迄此爲替ハ下ガルゾト云フコトヲ見越シテ居レバ、ソレ迄下ガル迄、輸入ガ殖エテ來ルノハ、是ハ當然ダト思ヒマス、其關係ハ因果ナ關係ニナッテ來ルト思フ、輸入ガ増進シテ貿易ノ「バランス」ガ悪クナッテ來レバ、ソレガ勢ヒ爲替ニモ影響シテ來ルコトハ明デアリマス、殊ニ二十五弗迄下ガルノダト云フコトノ聲ガ、大分アルデスカラ、ドウモ私共ハソコニ問題ヲ持ッテ行クノデハナイカト、斯ウ思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ大藏大臣ハ簡單デ結構デスガ、ドウ御考ニナリマスカ

○高橋國務大臣 此事ハ少シ前ニ週ルヤウニナリマスカラ、又問題外ト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、説明スル上ニハ已ムヲ得マセヌ、金解禁ヲセラレテ、サウシテ此輸入品ニ付テノ用意ヲシタノハ、十、

十一、十二、此三月ニ互ッテ居リマス、十、十一、十二、此三月ニ爲替ノ約束ハ出来テシマッタ、サウスルトマダ金解禁中ノ買付ナンドス、ソレデ前内閣ハ十、十一、十二此爲替ノ解合ヲサセヨウト掛ッタ、然ルニ解合ガ出来ナカッタ、何故出来ナカッタカ、此買ッタ人達ハ輸入品ヲ輸入スル爲ノ資金ヲ備ヘタシタカラ、解合ハ出来マセヌ、輸入品ノ代價ニ拂フ爲ニ備ヘタ、ソコデ據ロ

ナク其代金ヲ拂フノハ一月、二月、三月、斯ウ三月ニ互ッテ拂ヘバ宜イカラ、延期ハ出来ルガ、解合ハ出来ナイト云フコトニナッタ、ソコデ十、十一、十二ノモノハ、一、二、三ト繰延ベラレタ、ソレデスカラ必ズシモ爲替安ヲ見込デ輸入ガ殖エタト云フヤウナ斷定ハ出来ナイ、勿論輸入商人ノ中ニハ、先刻モ申ス通り、金解禁、金本位維持ハ到底不可能ナリト云フコトヲ見タ人モ随分アルダラウト思ヒマス、殊ニ外國人ナドハ早クソレヲ見タ、ソレデ爲替安ハ必ズ輸入ヲ殖ヤス、或ハ考ヘヤウデサウ云フコトガアツタカモ知レマセヌ、爲替ガモット下ガッテ、アナタガ言ッタヤウニ二十五弗ニ下ルト見當ッテ付テ居ル人ハ、先ヅ下ッタ時買ハウト云ッテ輸入ヲ控ヘテ居ル、併シ又一方カラ言ヘバ爲替安ニナッタ爲ニ、外國ニ品物

ガ出ルヤウニナッタト云フコトモアルノデス、爲替安ガ輸入ヲ増長サシタト云フコトハ一ツノ見方カモ知レヌガ、私ハサウバカリ強子考ヘテ居ラス、今申シタヤウナ説明ヲシテ見レバ、現ニ其買入時ヲ見テ買ッテ、サウシテ其支拂金ヲ先ニ海外ニ用意ヲシタ金、拂ッテ品物ヲ持ッテ来ルト云フコトニナッタノデアリマス

カ、人件費ヲ下ゲルカ、ドッチカ下ゲナケレバナラス、人件費ハ御下ゲニナル、金利モ下ゲルト云フ方針ヲ執ラレテ居ルヤウデアリマスガ、公債政策ヲ盛ニ御ヤリニナレバ、決シテ金利ハ下リマセヌ、ソレハ申ス迄モナイコトデアリマス、ドウシテモ金利ハ上ルト思フ、サウシテ金利ハ上ルハ、人件費ハ下ゲラレヌト云フコトニナルト、輸出ガ出来ナイコトニナル、私ハ是ハ大體論ヲ申スノデアリマス、大體論トシテソレハ出来ナイコトニナル、玆ニ大キイ行詰リガアル、ソコデ關稅ナドハ怖クナイト仰シヤルカモ知レヌガ、關稅ハドウシタッテ報復關稅、對抗關稅ノ上カラ、殊ニ其爲替差損ノ上カラ生ズル所ノ爲替「ダンピング」ハ何處モカモヤッテ居ルノデスカラ、是ハドウシテモ避ケラレナイト思ヒマス、ソレニ對シマシテ輸出ノ方ヲドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ラレルカ、大體論デ結構デスカラ承リタイノデアリマス

○川崎委員 前ノ問題ヲ御話ニナリマスト、私ドウシテモ問ハナクテハナラヌガ、前ノ問題ハ承リマセヌ、現在ノ問題、現在デハドウデアアルカト申シマス、一月、二月、三月ト對米爲替ハズト惡クナル一方デゴザイマス、是ハ御覽ノ通り數字ヲ今舉ゲル迄モナイコトデアリマス、所デ是ガ更ニ見越安ノ關係カラ、段々惡クナルヤウナ形勢ニアルノニ對シテ、何モ御考ニナッテ居ナイヤウデアリマス、私ハ是ハ單ニ輸入ノ關係ダケニ影響シテ居ルトハ思ハヌ、輸出ノ上ニモ影響ガ最モ多ク来テ居ルノデハナイカ、輸出ノ商談ヲ見送ッテ居ルト云フ一面モ、先程申上ゲルヤウニ爲替安ヲ見込シテ居ル、現ニ是ハ大體ノ大藏大臣ノ御方針トシテ、金ノ再禁止ヲヤリサヘスレバ、輸出輸入共ニ好クナル、殊ニ輸出ハ好クナル、爲替ガ安クナルカラ好クナル、斯ウ云

フ御考デアアリニナッタヤウデアリマスガ、其事ニ付テ先程輸出ガ——何處カニ註文ガアツタト云フコトヲ仰シヤイマスクレドモ、大體ニ於テ輸出モ延ビテ居ナイ、所デ現在デハ製品安ノ原料高ト云フ狀況ヲ貿易ノ上ニ呈シテ居ルコトハ大藏大臣モ御承知ノ通りダト思ヒマス、此原料高ノ製品安ト云フコトハ、是ハ豫テ政友會アタリノ唱ヘラレテ居リマス政策ト逆行スルコトニナル、今日本會議ノ議場デ大藏大臣ガ不用意ニ述ベラレマシタコトハ、是ハ私ハ言葉答メヲ申ス

居ルト云フガ、人ト物トハ違フト云フコトハ今迄政友會ガ唱ヘテ来タ、堀切君ナドハソレヲ主トシテ唱ヘタ、物ヲ安クシテ、人ヲ高クシヨウト云フ議論デ来ラレタ、ソレハ何ガ原因デ来テ居ルカト云ヘバ、人ノ値ヲ高クシテ購買力ヲ附ケテ景氣ヲ上ゲルト云フコト、斯ウ答ヘテ来テ居ル、ソレハ私ニハ能ク呑込メルノデスガ、其政策ノ裏ニ行ッテ居ル、今原料ハ高ク買ッテ、向フヘ賣ラウト云フ場合ニハ、高ク賣レテ行クカト

言ヘバ賣レテ行カナイ、爲替「ダンピング」ノ關係カラシテ、關稅ノ釣上ヲ受ケレバ、ドウシテモ叩キ賣ラナケレバナラス、ソレニハ何デ下ゲルカト言ヘバ金利デ下ゲル

○高橋國務大臣 根本ニ於テ意見ノ相違ガアルヤウニ考ヘマスカラ、モウ此上御答致シマセヌ

○川崎委員 意見ノ相違ト云フコトデ逃ゲラレルト甚ダ困ルノデス、是ハ御説明ノ附ク問題デアリマス、輸出ノ問題ハハッキリ御

説明ノ附クコトデス、意見ノ相違ハ意見ノ相違トシテ御述べ下サレバ宜シイ、私ハ唯意見ノ相違デハイケマセヌ、ドウ云フ點ガ意見ノ相違デアルカ、其意見ノ相違點ヲ承リタイ

○高橋國務大臣 先ヅ一ツ我國ノ輸出ノ大宗タル生絲ニ付テ申シマセウガ、矢張困難ナ世ノ中ニナッテ來マシタカラシテ、當業者非常ニ生産費ヲ減ズルト云フコトニ努力シテ居ル、現ニ今日發明サレタ一番良イ器械ト、其操業ノ方法ニ依ッテ、從來三釜デ出來タモノガ一釜デ出來ルヤウニナッテ、生産費ガ三分ノ一ニナッタ、尙ホ繭ノ改良ヲシテ、此六七月頃ニハ五分ノ一位ニナルサウデス、是ハ確カニ工場ヲ持ッテ其方ニ努力シテ居ル人ノ經驗デ、而モ其出來タ生絲ハ高ヲ問ハズ三井物産ガ一手デ引受ケテ、海外ニ出スト云フヤウナ狀況ニナッテ居ル、ソレデ輸出ノ方ハ唯爲替相場バカリデハアリマセヌ、皆努力ヲシテ居ルノデスカラ、兎ニ角生産費ヲ安クスルト云フコトガ最モ必要ナノデス、政友會ノ産業政策ヲ實行スルニ於テモ、民間ノ當業者ニ於テ其心ガナケレバナラヌノデアリマス、ソレダケ御答シテ置キマス

○川崎委員 ドウモソレハ全ク私ノ御尋シ

テ居ルコトニ對スル御説明ニナッテ居リマセヌ、意見ノ相違デモ何デモナイ、失禮デアリマスケレドモ、答辯ニナッテ居リマセヌ、故ニ伺ヒマセヌガ、唯私が最後ニ承ッテ見タイノハ、斯様ナ狀況ニナッテ來マス原因ガ種々アル中デモ、爲替安ノ見越輸入ト云フコトガ最モ重大ナ點デアルト思フ、其點ガ――安クナルトカ、高クナルト云フコトヨリモ、兎ニ角不安定ノ狀況ト云フコトハ、ドウシテモ爭フコトノ出來ナイ一ツノ現象デアリマス、ソコデ爲替ノ不安定ナ狀況ヲ此儘ニシテ置カレル御考デアリマスカ、ドウデアリマスカ、此儘デ御ヤリニナルト云フコトデアレバ、貿易ハ安心シテ出來ナイコトハ言フ迄モナイ、此頃ノ爲替相場デ言ヒマス、日ニ々々開キガ――ソレモ餘程ノ開キガアル、二三圓ノ開キヲ爲替相場ニ見ルト云フヤウナ狀況ヲ繼續シテ居ルト云フヤウナコトデハ、貿易ハ伸展ヲ致シマセヌ、大藏大臣ハ國內政策ダケ執レバ宜イノデアッテ、對外ノ貿易ナドハ顧ミナイト云フヤウナ御言葉ニモ聞エマスケレドモ、マサカ左様ナコトハアルマイと思フ、ソレデアリマスカラ、サウスルナラバ、ドウシテモ爲替ヲ安定サスト云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌノデスガ、サウ云フコトガ

先ヅ大切ノヤウニ思ヒマスガ、之ニ對スル御考ハドウ云フ御考ヲ御持チニナッテ御出デアリマセウカ、ソレヲ伺ッテ見タイと思ヒマス

○高橋國務大臣 爲替ノ變動ハ、貿易關係カラ起ッテ來ルヨリハ、支那方面ニ對スル事件ガ大ニ動カス原因トナッテ居ル、故ニ上海ノ問題ガ圓滿ニ片付クト云フコトニナリマスト、爲替相場ガ良クナル、即チ高クナル、圓ガ高クナル、少シ是ガ停頓シタトカ、將來益、交戦ガ擴大スルト云フヤウナ評判ニナルト、ズット下ル、單リ爲替相場バカリデハナイ、日本ノ外貨公債、亞米利加ニ於テ發行シタ公債、サウ云フモノマデ響キヲスル、ノミナラズ此關係ニ於テ我國ノ銀行及諸會社、紐育ナドニ支店ヲ持ッテ居ルモノハ、金融ヲ殆下止メルト云フ位マデ、一時ハ激昂スルコトモアッタ、全ク今日ノ爲替相場ノ變動ハ貿易關係ヨリハ支那事件ガ動カス大ナル力ニナッテ居ルヤウニ思ハレマス、ソレデ爲替相場ガ安定ヲスルト云フコトハ、政府ノ力デ之ヲ安定サセルト云フ、サウ云フ小策ヲ私ハ採リタクナイ、爲替相場ト云フモノハ其國ノ産業ノ力ガ充實シテソレガ本ニナッテ、爲替相場ガ定マル、金解禁前ニハ四十五弗乃至四十四弗ヲ以テ爲替相

場ガ落著イテ居ッタ、ソレハ日本ノ産業ノ力ガ充實シタモノガ土臺ニナッテ落著クノデアル、是ヲ以テ政府ガ何カセナケレバナラヌト云フ場合ハ、是ハ非常ナ場合デ、外國デモアル通り爲替ノ管理トカ云フヤウナ方法ガ幾ラモアリマス、ソレ等モ考ヘテハ居リマスケレドモ、是ハ施スニ時機ヲ見ナケレバナラヌ、果シテ日本ニサウ云フコトノ必要ガ起ルカ、起ラナイカ、サウ云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、唯一時其時、目前宜イカラト言ッテ施シテ、其利益ヨリハ後ニ貽ル害ノ多イコトガ往々アル、是ハ最モ爲政者トシテ慎マナケレバナラヌコトデアル

○川崎委員 大藏大臣ノ只今ノ御答辯ヲ承ッテ見マスと云フト、爲替ハ國ノ生産力ノ實力ニ依ッテ決マルモノデアルカラ、自然ニシテ置イタラ宜イノデアアル、今ノ爲替安ハ支那事件ノ關係デアルト云フコトデ御説明ニナッテ居リマスガ、成程支那事件モ關係ハゴザイマセウ、國際聯盟モ關係ガアル、上海事件ニモ關係ガアルヤウニ思ヒマスガ、一先ヅ此上海事件モ落著キ、サウシテ國際聯盟ノ方モ亦落著イタヤウナ形ニナッテ居ル現在ニ於テハ、爲替ハ上ラナケレバナラヌ譯デアリ、又株式相場ナンカモモウ少シ反動ヲ見セルと思フノデアリマスガ、ソコ

ニ少シモ影響ヲ與ヘナカッタト云フコトヲ見マス、支那事件ト云フモノハ大シタ影響ハナカッタヤウニ見ラレル、所デ此三十二弗見當位ガ本當ノ國ノ實力ガ反映シタモノト云フヤウニ御覽ニナッテ居ラレルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、其點ヲ一ツ承テ見タイノデアリマス

○高橋國務大臣 私ハ三十二弗ガ國力ノ支ヘル程度デアルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○川崎委員 三十二弗ガ其程度デナイ――

過日貴族院ニ於ケル御説明ノ中ニ伺ヒマスト云フト、前内閣ノ時分ニ四十四弗デアッタ爲替ガ、先ヅ四十四弗、四十三弗位ノ所デ止ッテ居、タト云フコトヲ仰セニナッタ、之ヲ見マス、ト云フト四十三弗トカ四弗ト云フ所ガ國ノ實力ノ反映デアルヤウニモ見エル、今ドノ程度ニ御考ニナッテ居ルカト云フコトヲ私共ハ承リタイデアリマスカ、ソレヲ此儘放任シテ置イテモ宜イカドウカト言ヘバ、其時機デナイヤウニ仰セニナルノデアリマスカ、是モ亦貴族院ノ速記録ノ中カラ見マス、ト云フト、井上前大藏大臣ガ金解禁ノ儘デ行カウトシテ居、タ時ニ、アレデハイケナイカラシテ、立法乃至行政上ノ手續ヲ盡シテ爲替ノ思惑ヲ取締リ、資本ノ流出ヲ防

ガナケレバナラヌト云フコトヲ大藏大臣ガ御述ベニナッテ居ル一節ガアリマス、此一節ヲ見マス、ト云フト、是ハ大藏大臣ノ高橋サ

ンノ仰シヤッタ言葉デアリマスカ、之ヲ承リマス、ト云フト、此御考ハ大藏大臣ニモ御有リニナルヤウニ思ハレル、即チ資本ノ流出ヲ防ギ、爲替ノ思惑ヲ取締ルト言ヘバ爲替管理デアリマス、爲替管理ヲヤルニハ色々方法ガアリマセウガ、必ズシモ爲替管理ハ金ヲ持タナクテモ、法律デモ取締ルコトガ出來ル譯デアリマスカ、今日はタケ爲替ガ惡クナリ、輸出入ノ關係ガ是タケ惡クナッテ居、テモ、マダ是デ放任シテ置イテモ宜イト云フ御考デ御在リニナルノデアリマスカ、ソレナラバ井上前大藏大臣ヲ御責メニナリマス、時ニハ、中々酷デ御在リニナリマシタガ、自分ノ方ハ輸出入ノ逆調、爲替ノ狀態ガ惡クナッテモ構ハヌト云フ御考ト諒承致シテ宜シウゴザイマセウカ

○高橋國務大臣 此爲替關係、即チ貿易關

係、是ガ全クノ經濟問題トシテ取扱ヒ得ル時勢ナレバ考ヘ物デ、或ハ直ニ行ッテ宜イコトモアルカモ知レマセヌガ、其以外ニアルノデス、政治上ニアリ、軍事上ニアル、サウ云フコトガ茲ニ混ッテ居ル、單ニ經濟的ノ問題トシテ解決ノ出來ナイ時勢デアリマス

○大口委員長 小池四郎君

○小池委員 私ハ無產階級ノ立場カラ是非質問シテ置カナケレバナラヌト云フ考カラ、茲ニ簡單ニ、而モ明瞭ニ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、是ハ恐ラク私一個ノ望ム所ノ質問ニ對スル答辯デハゴザイマセヌノデ、恐ラク日本ノ無產階級ノ大部分ノ人ノ要求デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ是非關係諸大臣ニ、簡單ニシテ極ク詳細ナル御答辯ヲ承リタイノデアリマス(笑聲)イヤ取消シマス、詳細ニシテ明瞭ナル答辯ヲ望ミマス(拍手)私ノ質問ノ答辯ハ犬養首相ト大藏大臣ト、最後ニ極ク小サナ問題デハゴザイマスカ、一ツノ重要性ヲ持ッテ居リマスル爲ニ陸軍大臣ニ質問ヲ致シタイト思ヒマスカ、犬養首相ノ出席ヲ求メルコトハ出來ルノデアリマセウカ、委員長ニ伺ヒマス

○大口委員長 一寸ソレハ政府ノ方ニ問合

セテ見ナイト分リマセヌ

○小池委員 出來ルダケサウシテ戴キタイ

ノデアリマスカ、出來マセヌナラバ拓務大臣ノ御出席ヲ願ヒマス

○大口委員長 ソレデハ此處ニ居ラレル大

臣ニ御質問ガアレバ御質問ニナッテ居、テハドウデスカ、今聞キニ遣リマス

○小池委員 兎ニ角其手續ヲシテ戴キマシ

テ、質問ヲ始メルコトニ致シマス、先ヅ第一ニ私ハ誤解ヲ招カンガ爲ニ最初ニ申上ゲテ置カナケレバナラヌノハ……(笑聲)私共ノ立場カラ申上ゲルノデアリマス、今度ノ事變ノ本質ヲ私共十分知抜イテ居リマスル結果、ソレカラ勃發シマシタ所ノ軍事行動ニ對シマシテハ當然ナル行動デアルト云フコトヲ承認シテ居ル者デアリマス、此立場ヲ先ヅ申上ゲデ置キマシテ、質問ノ要項ヲ完全ニ諒解シテ戴キタイト思フノデアリマス、隨テ私共ハ、今回ノ滿洲事件ニ關スル所ノ此經費ト云フモノヲ支辨サレタ所ノ政府ニ於ケル緊急處置、其物ニ對シテハ何等異議ヲ申スノデハナイノデアリマス、ダガ茲デ私共質問ヲシナケレバナリマセヌノハ、滿洲事件ニ關スル經費ノ支辨ト云フモノハ、當然是ハ何等カノ形ニ於テ國民ノ負擔トナラナケレバナライノデアリマスカ、如何ナル形ニ於テ、國民ノ如何ナル層ニ其負擔ガ掛ルカ、其負擔ノ結果及ビ負擔ノ處置ト云フコトニ對シテ、政府ハ十分ニ考慮シタカドウカト云フ一點デアリマスカ、此點ハ非常ニ重大ナル問題デアリマシテ、私共ハ第一ニ、今日ノ此事變ト云フモノハ、實際誰ノ手デ以テ勇敢ニヤラレタカト云フコ

トヲ考ヘマスナラバ、此事變ニ要スル所ノ費用ト云フモノハ、一體何處カラ取ラバ宜イカト云フコトガハッキリ分ルノデヤナイカト思フノデアリマス、勿論今日ノ事變ハ、國民全部ノ協力ニ依ッテ解決シタ所ノモノデアリマシテ、或ハ内閣諸公ニ於キマシテモ、相當ナ苦心モアルデアリマセウ、或ハ資本家階級ニ於テモ色々犠牲ヲ拂ッテ居ルデアリマセウケレドモ、今日ノ事變ノ中心ノ勢力トナリ、主體トナッテ苦勞ヲシタ者ハ、何ト言ッテモ日本ノ無産階級ノ人デアルト云フコトヲ私共ハ確信シテ居ルノデアリマス、此無産階級ノ戰爭ニ對シマスル苦勞ト云フモノハ、竝一通リノモノデハナクシテ、其他ノ諸君ノ苦勞ト云フモノモ相當アッタト云フコトハ認メマスルケレドモ、無産階級ノ苦勞ト云フモノハ生命ノ問題デアリマス、生命ヲ捨テルカ、捨テナイカト云フ問題ガ、此事變ニ於テ起ッテ來ルノデアリマス、此問題ハ十分ニ考ヘテ見ナケレバナライ問題ダト思フノデアリマス、然ラバ今日ノ事變デ一番苦勞ヲ嘗メ、最モ貴重ナル生命ヲ脅カサレテ居ル所ノ無産階級ニ對シテハ、出來ルダケ負擔ヲ輕クスルト云フコトガ今日ノ政府諸公ニ於キマシテハ當然考ヘラレル所ノコトデナケレバナライナイ

ト私ハ考ヘルノデアリマス、公債ヲ以テ政府ハ此事件費ヲ處理シヨウト云フコトニシテ居ラレルサウデアリマスルガ、公債ハ言フ迄モナク、最後ハ無産階級ヘノ過大ナ負擔ニナルコトハ明カナル事實デアリマス、況シテ此公債ノ金額ト云フモノハ、茲ニ戴キマシタ所ノ參考書類ニ依リマスルト、多大ナモノニナッテ居ルト云フコトヲ私共ハ見ルノデアリマス、恐ラク今後モ亦先程ノ大藏大臣ノ言明ニ依リマスルト、毎月千二百萬圓ノ金ガ要ルダラウト云フ御話ヲ承タノデアリマスルガ、極ク近イ將來ニ於テ、相當大キナ金額ニ此軍事費ト云フモノガナリ得ルト云フコトハ豫想シ得ルノデアリマス、恐ラク極ク最近ニ於キマシテモ、一億圓以上、或ハ一億四五千萬圓ノモノニナルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、然ラバ結局是ハ國民ニ付テ、而モ其國民中ノ大部分ヲ占メル無産階級ノ一戸當リニ莫大ナ負擔ヲ背負ハサレル結果ニナルト私ハ考ヘル、恐ラク一戸當リ十圓ノ負擔ニナルコトヲ覺悟シナケレバナライト思フノデアリマス、今日或ハ滿洲ニ、或ハ上海ニ於テ、生命ヲ賭シテ闘テ居リマス所ノ兵士ノ家族ノ救済サヘモ未ダ完全ナリト言ヒ得ナイノニ、而モ其上ニ尙ホ此軍事費ニ於ケル所

ノ負擔ヲ課サレテ、ソレデ正當ナリト政府ハ御考ニナッテ居ラレルノデアリマセウカ、之ヲ私ハ大藏大臣、或ハ總理大臣ニ答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
又一億圓以上ノ公債ト云フモノハ、結局大キナ公債デアリマスカラ、必ズ先程モ御話ガアリマシタヤウニ「インフレーション」通貨膨脹ヲ起スコトハ明カナル事實デアルト私ハ考ヘル、隨テ其必然の結果トシテ物價ハ騰貴スルニ違ヒナイ、物價ガ騰貴致シマスルト、結局大衆ノ、無産階級生活ノ壓迫ニ當分ノ間ハ少クモナルコトハ分リ切ッタコト、思フノデアリマス、無産階級生活ノ壓迫ト云フモノハ、總テ出征家族ノ生活ヲ壓迫スルモノデ、是モ否ミ難イ事實デアルト思フノデアリマス、或ハ戦ヒ濟ンデ歸テ來タ所ノ凱旋兵士ガ、斯ノ如キ輕率ナル對策ノ爲ニ生活ノ窮迫ヲ被ルト云フヤウナ事ガアリマシタナラバ、決シテ是ハ昨日、或ハ一昨日デゴザイマシタカ、陸軍大臣ノ言ハレタ所ノ、内生活ノ安固ヲ圖リ得ル所ノ策デハ斷ジテナイト私共ハ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ結果ガ分ッテ居ルニ拘ラズ、斯ウ云フ風ナ生活ノ上ニ於キマスル壓迫ガアルト云フ事ガ分ッテ居ルニ拘ラズ、強ヒテ此軍事費ヲ公債ニ依ッテ之ヲ處

分シナケレバナライト云フノハ、何ノ爲デアルト云フコトヲ私ハ御尋ネ申上ゲタイノデアリマス、而モ此公債ニ依ッテ今日軍事費ヲ始末スルノミガ唯一ノ方法デハナクシテ、其他ニモ考ヘルナラバ幾多ノ方法ハアリ得ルト思フノデアリマス、先程本會ニ於キマシテ、弗買ノ收入ト云フモノヲ以テソレニ充ツベシト云フ議論モアリマシタガ、豈單リ弗買ノ收入ノミニ限ランヤデアリマス、政府ノ諸公ガ眞ニ今日滿蒙ノ平野ニ於テ血ヲ以テ闘ッテ居ル所ノ、國民ノ氣持ト云フモノガ御分リ下サイマシタナラバ、國民全體、一般無産階級ノ生活ヲ犠牲ニシナイデモ、モット他ニ幾多良イ方法ガアッタデヤナイカト云フコトヲ私共ハ考ヘルノデアリマス、而モ今日滿洲ノ事變、或ハ上海ノ事變ニ依リマシテ、既ニソノ國民ノ或一部ノ者ハ相當利益ヲ得ルト云フコトガ約束サレテ居リマス、例ヘバ滿蒙ニ於ケル既設事業デアアル所ノ滿鐵デアルトカ、或ハ東拓デアルトカ、其他ノ各會社ト云フモノハ、アノ無産階級ノ努力ニ依ッテ確保サレタル滿蒙ニ於テ相當ノ利益ヲ得ルト云フコトハ明カナル事實デアリマス、或ハ滿蒙ノ天地ニ新國家ノ建設ニ依リマシテ幾多ノ資料ガ開發サレル結果、日本ノ産業資本家ガ

相當ノ利益ヲ約束サレト云フコトモ、是モ否ミ難イ事實デアリマスガ、或ハ滿蒙カラ原料ヲ採リマシテ生産事業ニ携ッテ居リマス日本ノ資本家階級ハ、是亦今日ノ滿蒙問題ノ始末ガ付キマス事ニ依ッテ大キナ利益ヲ得ルト私ハ考ヘルノデアリマス、既ニ噲ニ依リマス、三井ハ滿蒙ニ羽翼ヲ延バサウトシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、或ハ又昨日ノ報道ニ依リマス、三井三菱ハ「セメント」五千樽ヲ上海ニ送ッタト云フコトデアリマス「セメント」界ニ於ケル今日迄ノ不況ト云フモノハ、五割七分ノ高率操短ヲヤッテ居タノデアリマスガ、既ニ今日ハ滿蒙問題ノ解決ニ依リマシテ、五割五分ニ減ジタト云フコトヲ聞イテ居リマス、或ハ又何々ト云フ幾多利益ガ滿蒙ノ産業開發、滿蒙ノ文化ノ發展ニ依ッテ獲得サレルト云フコトハ、事實デアルト私ハ考ヘルノデアリマス

モノバカリデナク、今回ノ事變ハ戰時ト同様デアリマスカラ、非常時ノ財産税、或ハ其他財産ニ依リ利潤ヲ受ケル者ニ對シテ新稅ヲ設置シテ、ソレ等ノ費用ヲ得ル考ハ總理大臣、或ハ大藏大臣ハ有ッテ居ラレナイカ、私ハ伺ヒタイノデアリマス、先程總理大臣ハ弗買ナドガ經濟界ノ色々ナ現象ニ依テ儲ケタ所ノ利益ヲ政府、或ハ國家ガ取ルト云フコトハ考ヘテ居ナイト仰シヤイマシタガ、併シ今日ノ臨時議會ト云フモノガ開カレタ此眞ノ趣意ト云フモノヲ御考ニナリマスナラバ、サウ云フ考ガナイト仰シヤラナイデ、何トカ取ル方法ガナイカト云フコトヲ眞劍ニ考ヘテ下サルコトガ、本當ニ誠意アル總理大臣デハナイカト私ハ考ヘマス、其上ニ尙ホ現内閣ハ決シテ軍事費ダケヲ公債ニ依ッテ支辨スルト云フコトヲ考ヘテ居ラレルノデハナクシテ、一切ノ支出ヲ公債ニ俟ツヨリ他ニナイヤウナ窮境ニ立至ッテ居ルト云フコトモ、是モ否ミ難イ事實デアリマス、七年度ノ豫算ニ於キマシテモ電話事業公債、或ハ電信事業公債、或ハ震災善後公債、或ハ道路公債、或ハ歳入補填公債ト云フ幾多ノ公債ヲ起債致サナケレバ此財政ハ始末ガ出來ナイト云フコトモ明カデアリマス、又今日高橋大藏大臣ハ、失業救済ガ

政友會内閣ノ手ニ依ッテ出來得ルト云フコトヲ確信シテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、少クモ差當リ、當分ノ間、失業救済ヲスル何等カノ施設ヲシナケレバナラナイ、此公債モ要ルニ違ヒナイ、又産業五箇年計畫、政友會ノ傳統ノ計畫デアル産業五箇年計畫ニ依リマシテ、山本条太郎君ニ依レバ、産業助成公債ヲ一年一億二千萬圓ヲ發行スルノ決意アリト言ハレテ居ルコトヲ聞イテ居リマス、其他色々ナ仕事ヲ爲サル上ニ於キマシテノ金ノ出所ヲ公債ニ持ッテ來ラレルト云フコトガ、否デモ應デモサウナッテ來ルト云フコトヲ考ヘマスルナラバ、近イ將來ニ或ハ數億圓ノ公債ヲ發行シナケレバ始末ガ付カナイト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ大キナモノガ若シモ公債ニ出ルヤウナコトニナルト、此見透シノ下ニ政友會ハ「インフレーション」ノ政策ヲ唱道サレテ居ルト云フコトハ明デアリマスルケレドモ、併シ極端ナル通貨膨脹ハドナクモ御好キデアリハシナイト思フ、併シ現實ノ問題トシテハ極端ナル通貨膨脹ニナルノ虞アル時ニ、而モ此軍事公債ト云フヤウナ、他ノ其戰爭ニ關係シテ利潤ヲ擧ゲ得ル所ノ者ニ容易ニ之ヲ轉嫁シ得ル性質ノモノヲ、

特ニ公債ニシナケレバナラスト云フ理由ハ私共無イト思フ、其理由ガアレバ併セテ御伺申上ゲタイト私ハ考ヘルノデアリマス、況シテ無產階級ノ見地カラ見マスルト、斯ウ云フコトハ痛切ニ考ヘラレルノデアリマス、今迄戰爭ニ無產階級ガ携ッテ參リマシタ、日露戰爭モサウデアリマスガ、日本ノ無產階級ガ流シテ來タ血ト云フモノハ、總テガ本當ニ完全ニ酬ヒラレタコトハ無イト云フ感ジヲ無產階級ハ持ッテ居ル、日露戰爭ニ於テモ然リデアルト云フ感ジヲ私共ハハッキリ持ツ、日露戰爭ハ御承知ノ通りニ澤山ノ日本國民ノ生命ヲ捨テタノデアリマス、澤山ノ金ヲ戰爭ノ爲ニ捨テタノデアリマスルケレドモ、其結果得マシタ所ノ過去二十數年間ニ於ケル、滿蒙ニ日本ガ獲得シテ居リマスル權益カラ出タ所ノ利潤利益ト云フモノハ、莫大ナルモノガアリト私ハ考ヘル、ケレドモ其莫大ナル利益ガ一體誰ノ手ニ入ッタカト云フコトヲ今日ノ無產階級ハ痛切ニ考ヘテ居リマス、此點ハハッキリウ私共申上ゲテ置カナケレバナラヌノダガ、今ノ無產階級ハ、其大部分ハ利潤ガ資本階級ノ懷ロニ流レテ行タト云フ感ジヲ皆持ッテ居リマス、例ヘテ申シマスルナラバ、滿鐵カラノ利潤利益ト云フモノハ今日

迄莫大ナルモノガアル、創業以來既ニ數字ノ上ニ現ハレテ居リマスル所ノ利潤ニ付キマシテモ三億圓ノ利潤ガアリ、配當ガ舉ゲラレテ居ルコトガ分ッテ居ル、併ナガラ其配當ハ一體誰ノ手ニ這入ッテ居ルカト云フト、株券ハ政府ノ持株ノ方ガ遙ニ多イニ拘ラズ、配當額ト云フモノハ政府ノ取リマシタモノガ民間株主ガ取リマシタ配當額ヨリモ遙ニ少イト云フコトハ明カナル事實デアリマス、是ハ其當時ニ於テハ斯ウシナケレバナラナイ事情ガアツカモ知レマセスケレドモ、極ク最近ニ於キマシテモ、尙且ツ二十五年前ノ政府ハ少ク、民間大資本家ニハ澤山配當ヲヤルベシト云フ理由ハ毛頭私ハアリ得ナイと思フ、斯ウ云フヤウナ點ヲ何等政府諸公ハ考ヘズシテ今日迄居ルト云フコトハ、無産階級ガ戰爭ヲシテモ、其後始末ハ總テ資本家階級ニ祇メラレルト云フ觀念ヲ懷クノハ私ハ當然ダと思フ、斯ウ云フヤウナ滿鐵ニ於ケル所ノ莫大ナル利益、其他幾多アリマス滿鐵ノ社債ノ利子ト云フモノハ誰ノ手ニ入ッテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、サウ云フモノハ總テ働イタ者ノ手ニ入ラナイ、努力シタ者ノ手ニ入ラナイト云フ憾ミガ十分アルと思フノデアリマス、此事ヲ私共ハ本ニ能ク書クノデアリ

マス、サウシテ日本ノ此滿洲ヲ確保スルト云フ意味ハ、資本階級ノ利潤ヲ確保スル爲ニヤルノデナクシテ、日本國民全體ノ生活ノ利益ノ爲ニ滿洲ヲ確保スルノダト云フコトヲ書キマスガ、斯ウ云フヤウナ滿鐵、或ハ其他ノ實例ヲ書イタ所ノ書物ト云フモノハ、一切發賣禁止ノ厄ニ遭フト云フコトハ、一體何ノ爲デアルカ、此點ニ付テ私共ハ疑ヒ無キヲ得ナイノデアリマス、今次ノ戰爭ニシテモ私ハサウハ考ヘテ居ナイ、資本階級ノ利益ノ爲ノ戰爭デハナイト考ヘテ居ル、カルガ故ニ日本ノ無産階級ハ命ヲ棄テテ、滿洲ヲ以テ生命ヲ賭シテマデモ忠勇ナル働キヲシテ居ルノデアルト考ヘル、而モ其事ヲ書イタ書物ト云フモノハ、直グニ發賣禁止ニ遭フト云フコトハ、政府諸公ダケハ尙ホ矢張資本階級ノ利潤ニ相當好意ヲ有タレテ居ルト云フコトヲ裏書スル事實ヂヤナイカト云フコトヲ考ヘマシテモ、私ハ無理ハナイと思フ

ソレカラ私共ハモウ一ツ斯ウ云フ事ヲ聽キタイノデアリマス、滿洲ノ權益ヲ擁護シ、確保シナケレバナラナイト云フコトハ、國論一致デアリマスガ、滿洲ノ權益ヲ確保スル以上ハ、其一ツノ理由ト致シマシテ、滿洲ト日本ト一ツノ經濟「ブロック」ニシナケレバナラナイノデアリマス、是ハモウ明カナ事實デアアルガ、然ラバ今迄ノ過去ノ事績ヲ私共考ヘマス時ニ、是等政府諸公ノ氣持ガ果シテ何處ニ在ルカト云フコトヲ質問セザルヲ得ナイ、其材料ニ私共ハ過去ノ事實ヲ舉ゲテモ間違ハナイと思フノデアリマスガ、先ツ第一ニ滿洲ト日本ト一ツノ「ブロック」ニスルト云フコトハ今日始ッタ事デナイ、前カラアル事デアリマスガ、然ラバ今迄ノ事實トシテ滿洲ト日本ト一ツノ經濟「ブロック」ニ實際ナッテ居ルカ、又ナルヤウニ政府ガシテ居ッタカ、例ヘテ申シマスレバ、滿洲ニ安イ石炭ガアルト云フコトハ周知ノ事實、安イ鐵ガ滿洲ニ生産サレルト云フコトモ、是モ周知ノ事實デアリマス、然ラバ此安イ所ノ鐵ヤ石炭ヲ日本内地ニ輸入スルト云フコトニスレバ、始メテソコニ實際ニ一ツノ經濟「ブロック」ガ確立サレタト云フコトニナルと思フ、全部ハナラナイトシテモ……私ハサウ考ヘルノデアリマスガ、實際ハドウデアアルカ、滿洲ノ撫順ニ於ケル所ノ生産額ト云フモノハ八百萬噸アル、八百萬噸一年ニ生産出來ルノデアリマスガ、其八百萬萬出來ルモノヲ内地ノ石炭業者ノ制肘ニ依リマシテ、例ヘバ日本炭礦聯合會ノ制限ニ依リマシテ、僅ニ六百五

十萬噸シカ昨年ハ出スコトガ出來ナイト云フヤウナ狀態ニ制限ヲ受ケテ居ル、安イ石炭ヲ今日取ラナケレバナラナイノニ、内地ニ輸入シテハナラナイト云フ制限ヲスルト云フコトハ、日滿經濟「ブロック」ガ成立シテ居ナイト云フ所ノ明カナ事實デアリマス、サウシテ僅カナ石炭ヲ相當大キナ設備デ掘ラナケレバナラナイ爲ニ、昨年以来撫順ガ今迄無イ所ノ不振ノ狀況ヲ示シテ居ルト云フコトノ一原因ヲ成シテ居ルト聞イテ居リマス、而モ其間ニ於テ撫順ノ出炭ガ少カッタ爲ニ、滿洲ノ撫順ヲ持ッテ居リマシタ所ノ東洋ノ石炭市場ト云フモノハ、段々開平炭ニ其市場ヲ削リ取ラレテ行ク、開平炭ノ方ハ年々出炭量ガ増シテ行クト云フ狀態ニアルト云フコトハ、是ハ私共決シテ看過スコトノ出來ナイ事實デアリマス、況シテ政友會ノ言フ所ノ産業五箇年計畫ノ一番根本ノ問題ハ、動力費、或ハ石炭トカ、或ハ水力電氣ト云フモノハ出來ルダケ安クシナケレバ五箇年計畫ハ達シ得ナイト云フコトヲ言ッテ居リマスガ、其建前カラ言ッテ、今日ノ政友會ノ内閣諸公ハ今迄通り滿洲ノ鐵トカ、石炭ト云フ重要ナル生産物ヲ日本ノ石炭業者ノ利益ガ侵害サレルト云フ單ナル理由ノ爲ニ日本内地ニ入レルコトヲ制限スルコトヲ此

儘持續シテ行カレル氣持デアアルカドウカト云フコトヲハ、キリ伺ヒタイ、私共ハ此點ニ付キマシテハ色々反對ガアルト思ヒマスガ、安イ石炭ヲ内地ガ買ヒマシテ、日本ノ炭坑、其他ノ立場ヲ潰シテ、其結果失業者ガ出ルト云フコトヲ肝腎ノ理由ニシテ居ルノデアリマスルケレドモ、私ハ斷ジテサウ云フ事ハナイト思フ、今日ノヤウナ小サナ一ツノ炭坑ヲ個々別々ノ坑主ガ之ヲ經營シテ居リマスルナラバ、即チ統制無キ、計畫無キ所ノ資本家的ノ經營ヲシテ居リマシタルナラバ、何時迄經テモ諸外國ノ炭坑ニ對抗スルコトハ出來ナイノデアリマス、之ヲ整理致シマシテ、本當ノ國營ノ事業トシテ、國營炭坑ニ致シマスルナラバ、恐ラク撫順ノ安イ石炭ト競争スルコトハ、譯ナイ事實デアルト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、政府ハ今迄通り矢張此大事ナ鐵石炭ヲ内地ニ送り込ムコトヲ資本家ノ利益ノ爲ニ、掣肘ナサルカドウカト云フ點ノ御決意ヲ御聽キ申上ゲタイト思フ、是ハ鞍山ノ鐵ニ付テモ、私ハ其通りノコトガ言ヒ得ルト思フノデアリマスガ、鐵ニ付テモ御考ヲ是非ハッキリ答辯シテ戴キタイト思フ、ソレカラ又モウ一ツ伺ヒタイノハ、滿洲ノ權益ガ日本ニ確保サレマスルト、滿洲

ニ對シテ日本ハ經濟的ニ發展ヲシナケレバナラナイケレドモ、如何ナル形ニ於テ日本ガ經濟的發展ヲスルカト云フ色々ノ行道ガアリ得ルト思フ、ケレドモ資本家階級、或ハ一部ノ人ノ考ヘ方ハ、其中ノ一ツヲ採リテ足レリトスル所ノ謬見ニ陥リテ居ルコトガアルノデアリマス、ソレハ即チ何デアルカト言フナラバ、資本ノ移入ヲ滿洲ニシサヘスレバ、ソレデ以テ事足レリト云フヤウナ意見ガ大分アルヤウデアリマスガ、私共ハサウ考ヘテ居ナイ、ソレモ必要デアリマスケレドモ、日本勞働階級ノ滿洲移入ト云フモノヲ有ユル考案ヲ廻ラシテ、之ヲ達成サセナケレバナラナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ日本ノ勞働階級ヲ滿洲ニ入レ込ムト云フノハ、其儘ニ入レ込メ宜イモノデナイコト、是モ周知ノ事實デアリマス、滿洲ニ於キマスル所ノ勞働者ノ生活狀態ト、日本ノソレトヲ比ベマス時ニ、ソレガ只デハ不可能デアルト云フコトハ明カデア、ソレデ日本ノ勞働階級ヲ滿洲ニ移入致シマスル爲ニハ、丁度滿洲五族ガ今度ハ滿蒙ノ天地ニ於テ、經濟的、政治的ニ平等ノ權利ヲ取り得ルヤウナ機運ニ向イテ参リマシタガ、ソレト同様ニ、私共ノ考ヘ方カラ言ヒマスナラバ、日本ノ勞働階級ノ賃

銀ト、滿洲ニ於ケル主トシテ支那ノ勞働者デアリマスガ、支那ノ勞働者ノ賃銀トノ差額ヲ、出來得ルダケ少クシテ、サウシテ同様ノ條件ノ下ニ、競争ノ出來ルヤウナ運ビニシナケレバ、日本ノ勞働者ハ滿洲ニ移入出來得ナイト思フ、斯ウ云フヤウナ立場カラ考ヘマスルナラバ、若シモソレヲ政府ノ諸公ガ滿蒙ノ將來ノ此經濟經營ニ付テ考ヘテ居ラレナイト致シマスナラバ、日本ノ資本ノ輸出ダケニ止マッテシマウト云フコトニナリ、サウシテ全ク安イ所ノ支那ノ勞働者ヲ出來ルダケ搾取シテ、ソレダケ利益ヲ取ッテ、得タリ賢シトシテ居リマスルナラバ、遂ニハ滿洲ニ於テハ日本ノ資本ト、支那ノ勞働者トノ間ニ尖銳ノ階級對立ガ必ズ生ズルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ事態ガ將來ニ若モ起ルト云フコトヲ見透シ出來マシナラバ、由々シキ事態デアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フコトニ付キマシテ滿洲ニ於キマスル今後ノ勞働政策ニ付テ、如何ナル對策ヲ御アリデアアルカト云フコトヲ私ハ御伺申上ゲナケレバナラナイ、ソレカラ滿洲ノ開發方針ト云フモノハ、斯ウ云フヤウナ意味デ私共ハヤッテ行キタイト考ヘテ居リマスルガ、先ニ質問申上ゲマシタヤウニ、滿洲ノ鐵ト日本ノ鐵、其兩者ヲ御互ニ關係シ

テヤッテ居リマス所ノ生産業者ガ、利益相矛盾スルト云フ事實ハ、時々起リ得ルト思フ、サウ云フ事實ヲ一經濟「ブロック」ノ確立ト云フ方針ノ下ニ、ヤリマスナラバ、ドウシテモ滿洲ノ此鐵工業者、或ハ鐵生産者、日本ノソレト同様ナ從業者トノ間ニハッキリシタ統制のナ一ツノ協定ガナカレバナラナイト思フ、サウ云フヤウナコトガ實際今日ノ滿洲ニ於キマスル事業ヲ私人ノ經營ニ委シ、日本ノ鐵ノ生産ト云フモノヲ私ノ經營ニ委シテ居テ、其日滿ノ間ノサウ云フ關係ヲ圓滿ニ協定セシメ、サウシテ眞ノ一經濟「ブロック」ヲ確立シ得ルト御考ニナリ得ルカドウカ、是モ一ツ是非伺ハナケレバナラナイト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ヲ御質問申上ゲタイノデアリマスガ、若モ是等ノ決意ガ萬一政府ノ諸公ニナイト致シマスルナラバ、ソレハ又數千人ノ日本無產階級ノ鮮血デ造上ゲタ此滿洲ヲ、前ト同ジヤウナ「ブルジョアジー」ノ利益ノ爲ニ引渡シテシマフ結果ニナルコトヲ私ハ虞レルノデアリマス、併シ今回ハサウ云フコトガナイダラウト云フコトヲ期待シツ、日本ノ無產階級ハ命ヲ捨テ、居ルダラウト思フ、併ナガラ殘念ナコトニ今日マデノ經過ヲ私共見マシテ、吾々無產階級ガ安心出來

得ルヤウナ徴候ト云フモノハ餘リナイノデアリマス、例ヘテ言ヒマスルト、其意味ニ於テ私共ハ悲觀ヲシナケレバナライ、ドウ云フ風ニ此滿洲ノ權益ガ確保サレ、ドウ云フ意味デ内閣ノ諸公ガ滿洲ノ權益ヲ確保サレルコトニ努力サレルカト云フ、其意味ガ知リタイノデアリマス、其意味ヲ知ラナイ内ハ、日本ノ無產階級ハ安心出來ナイ、隨テ今日ノ軍事實ト云フモノヲ公債ニ依テ支辨スルト云フコトニ關聯シテ、正當ナ審議ヲスル材料ヲ持チ得ナイコトニナリマス、例ヘバ私共ハ茲ニ陸軍大臣ニ御伺申上ゲタイノデアリマスガ、陸軍大臣ハ國家ヲ思フ赤誠ニ付キマシテハ私共ハ少ナカラザル敬意ヲ表シテ居ル者デアリマスケレドモ、内閣ガ出來マシテ陸軍大臣ガ就任匆々新聞ニ表ハレタ所ニ依リマス、新聞ニ出テ居リマスルコトガ事實デアルト致シマスルト、滿洲ノ滿鐵ノ總裁ト云フモノヲ政府ガ代リマスル度毎ニ、其總裁ヲ政黨人ニ依テ更ヘルト云フコトハ絕對反對ダト言ハレタト云フコトヲ新聞デ見テ居リマス、私共ハ此點ヲ甚ダ痛快ニ感ジタノデアリマシテ、サウ云フモノガ存在シテ居リマス以上ハ、滿洲ヲ幾ラ無產階級ノ努力ニ依テ確保サレテ、結局資本家階級ノ喰物ニナルト

云フ感ジヲ持テ居タ所ガ、斯ウシタ極メテ満足ナ言葉ヲ私共ハ聞カサレテ喜ンデ居タノデアリマスガ、其後滿洲ニ於キマスル關東廳ノ長官ガ山岡萬之助氏、政友會ノ方ガ新ニ就任サレタト云フ更迭ノ事實ヲ私共聞キマシタトキニ、私共ハ幾分ノ幻滅ヲ感ゼザルヲ得ナカッタノデス、滿洲ヲ例ヘバ一ツノ小サナ例ニ取リマスナラバ、滿洲全體デナクシテモ、滿鐵ト云フモノヲ私人ノ經營ニスルコトナクシテ、國家ノ經營ニ直サナケレバナライト云フノハ、無產階級ノ聲デアリマス、而モ其國家經營ト云フモノハ、今日ノ鐵道省ヤ、或ハ電信電話事業デナクシテ、其國家經營ノ最高管理權ハ、今日ノ政黨政派ニ超越シタ所ノ一ツノ獨立管理權ノ下ニ滿鐵ガ經營サレルコトヲ私共ハ望ンデ居ル、サウ云フ立場カラシテ私共ハ關東廳ノ長官ノ更迭ト云フモノガ、果シテ日本無產階級ノ利益ノ爲ニ添ウテ居ルモノデアアルカドウカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、此點ニ付テ滿鐵總裁ノ更迭ニ反對ヲ表明サレタ所ノ陸軍大臣ノ御答辯ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ諸點ヲ私共ハ御質問申上ゲルノデアリマスルケレドモ、斯ウシタ是カラノ滿洲ノ經營ヲ如何ニスルカト云

フコトヲハッキリ私共ハ御伺申上ゲマセヌト、今日ノ軍事實算ヲ公債ニ依テ處理スベキカ、或ハ何ニ依テ處理スベキカト云フコトノ見當ガ付キ兼ネルト思フノデアリマス、私共ハ今日ノ財政ノ情勢ダケデ之ヲ決メタクナイト信ジマス、斯ウ云フヤウナ意味ニ於キマス所ノ質問ヲスルノデアリマスガ、藏相、或ハ首相ニ於テ、或ハ陸相ニ於テ簡單ニシテ明瞭ナ御答辯ヲ御願申上ゲタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 御質問ノ要點ハ、公債支辨デ滿洲事件費ヲ出スト云フコトハ、無產階級ノ負擔ニサル、此費用ヲ出スニハ他ニ方法ガアルダラウ、無產階級ト云フモノハ詰リ労働者デアルト解釋シテ宜カラウト思フ、是ハ世界中ノ議論デ、資本ト労働ト云フモノガ利害一致シナイ、ソレデ労働者ハ資本家ノ搾取ニ對シテ不平ヲ言フ、是ハ澤山ナ著述モアリ、實例モアルノデアッデ、未ダ如何ニシテ此勞資ノ協調ガ實現スルカト云フコトハ、理論ハアリマスケレドモ、先ヅ實現シテ居ル所ハナイ、御話ノ通り弗買デ儲ケタ者カラ取ッタラドウダ、金ヲ儲ケタ者カラ費用ヲ取レト云フガ、金ヲ儲ケタ者ハ其金ヲ如何ニ使フカト云フコトガ問題デアル、一體労働者ト云フモノハ資本ナクシテ労働

ハ出來ルモノデハナイ、唯資本家ガイケナイ、労働者ハ資本家ヲ無クシテシマイタイト言フ、サウスルト總テノ主ナルコトハ國家ガ經營スレバ宜イコトニナル、是ハ重大ナ問題デ、或ル國デハソレヲ試ミタケレドモ、ソレハ段々最初ノ理想通りニ行カナクテ、矢張労働ト資本ヲ區別シテ行カナケレバナラヌト云フ實際ニ到著シテ居ル、簡單ニ申セバ、勞資ノ問題ハ利益ノ分配ノ不公平カラ起ッタモノト私ハ考ヘル、例ヘテ言ヘバ我國ノ經濟界ノ盛ンナ時代ニ於テ會社ガ非常ナ利益ヲ得タ、サウシテ其利益ト云フモノハ主ニ株主ノ配當ニ用ヒラレタ、翻テ其利益ヲ働イテ拵ヘタ労働ノ境遇ハドウカト言フト、ソレ程ニ厚クナカッタ、斯ウ云フコトデ近頃ハ昔カラ見ルト富ノ解釋カラシテ違ッテ來テ居ル、今日デハ富ト云フモノハ人間ノ働キデアルト云フコトニ進ンデ來テ居ル、人間ノ働キ程尊イモノハ無イ、如何ニ資本ガアッデモ、其資本ヲ活用シテ富ヲ作ルノハ其働ク人ニアル、サウシテ見ルト資本カラ生ジタ利益ト云フモノハ、主ニ働イタ人ニ厚クナケレバナラヌ、懷口手ヲシテ居ル資本家ニ其利益ガ厚ク行クト云フコトハ間違ノ元ダ、無產階級、即チ労働者、是ト資本ト始終喧嘩ラスベキモノデハナイ、

協調ノ途ヲ見出し、サウシテ互ニ努力シテ實行シテ行カナケレバナラス、若シ金持ガ一ツノ事業ヲ個人的ニ起シタ、其處ヘ澤山ノ労働者ヲ使フ、其金持ノ卸シタ資本ハ、例ヘバ鑛山デ言ヘバ鑛山ヲ買、タトカ、機械ヲ備ヘタトカ、或ハ道路ヲ造、タトカ、或ハ汽車ヲ作、タトカ、サウ云フコトニ資本ヲ投ジタ、併シ其金持自身ハ其會社ノ事業ノ經營モ何モシナイデ、番當委セニヤ、テ居ル、謂ハ、其資本家ガ懷ロ手ヲシテ利益ヲ取、テ居ル、懷ロ手ヲシテ居ル人ノ方ニ分配ガ餘計ニ行、テ、働イテ富ヲ作、タ労働者ノ分配ガ薄イト云フコトカラ不平モ起リ、生活難モ起ル、ソレデ私ハ時々人ニ話シタコトモアル、是カラハソレガ改マラナケレバナラス、懷ロ手シテ居ル人ハ働キヲシナイデ利益ヲ得ルコトヲ主トシテ居ル、併シ其利益ハ働ク人ガア、テ初メテ生ズルノデアルカラ、其分配スル割合ハ労働者ノ方ガ厚ク酬ヒラレナケレバナラスト私ハ思フ、其時勢ガ来ナケレバ直ラス、今資本家——外國ノ資本家ト較ベテ見ルト、日本ノ資本家ト云フモノハ實ニ微々タルモノデアル、之ニ利益ヲ皆奪ハレテシマッタナラバ、日本ノ事業ハ起ラナイ、今起、テ居ル事業モ發達シナイ、其結果ハ労働者ガ職ヲ失フコトニナル、

資本家ガア、テ初メテ労働者ハ職ヲ失ハナイノデアル、資本家バカリデモ、亦労働者バカリデモイカナイ、ソレデ勞資ト云フモノハドウシテモ協調シテ行カネバナラスト時勢デアラウト私ハ考ヘル

ニ稼イデ居ル同胞ノ職ヲ奪フト云フコトハ、是ハ俄ニ出来ナイコトデアル、此處ハ今ノ豫算ノ問題外ニナルカモ知レマセヌケレドモ、資本、労働ノ此問題ニ付テハ世界中ノ學者、經濟家、政治家ガ殆ド論盡シテ居ルト言、テモ宜イ位デアル、此席ニ於テ現内閣ガ責任ヲ以テ滿洲ノコトニ付テハ他日斯ウスル、日本ノ労働者ヲアソコヘ入レテ、支那ノ労働者ガ安ク働クカラシテ、同

ノ通りダラウト思ヒマス、ソレカラ此公債ノコトニ付テ、滿洲ノ事件費ニ付テ、公債デナク、他ニ財源ヲ求メルト云フ御意見デアリマスガ、ソレモ今日ハサウ致シマス云フコトハ申上ゲラレマセヌ、ト云フノハ其方法ガナイ、此上若シ納稅者ニ對シテ、稅ヲ重クスルト云ヘバ、是ハ稅ガ重クナッテ負擔ガ重クナレバ、資本家トシテハ其資本カラ生ズル物ニソレヲ打掛ケルヨリ外仕方ガナイ、サウスレバ物價ガ高クナルカラ、使用者モソレガ爲ニ高イ物ヲ買ハナケレバナラスト云フコトニ關係ガ及ンデ來ル、ソレカラ又資本家ヲ害メレバ、資本家ト云フモノハ萎縮シテシマッテ、新タニ事業ヲ起シ、或ハ既ニアル事業ヲ擴張スルト云フヤウナ勇氣ハ起ラナイ、ソレハ矢張労働者ノ爲ニ不利益ナ結果ニナル、ソレカラ無產階級ト云フモノガ決、テ居ル譯デハナイ、百萬長者ト雖モ今日無產階級ハ澤山アル、千萬ノ資本ガアルト世ノ中カラ言ハレテ居、テモ、其人ノ生活ノ收支ニ於テ始終足りナイト云フコトハ、是ハ貧乏人ノ方ニ歩イテ行ク、無產階級ト云フモノ變ラヌ、一概ニ資本家資本家ト云フケレドモ、資本家ノ中ニ無產階級ガ大分アル

○小池委員 時間モナイコトデスカラ簡單

ソレカラ滿蒙ノコトニ付テハ、南滿鐵道ガ莫大ナル利益ヲ取、タ、私ハ能ク知ラスケレドモ、中々實際ノ有様ハ今アナタノ仰シヤルヤウナイコトニハナッテ居ラスヤウニ思フ、ソレカラ滿洲ト日本トガ經濟的ノ一ツノ「ブロック」ヲ作ルノモ、一ツノ宜イ御考デアルケレドモ、滿洲ハ支那ノ領土デアル、今度出來タ新國家ハ支那ノ領土内ニ於ケル一ツノ獨立國デ、日本カラ見レバ實際上ニ於テハ他國デアル、殊ニ滿洲ニ於テハ新國家聲明通り、各國民ニ對シテ機會均等ト言フ程ニ區別ヲシナイ、何人デモ彼處ニ來テ働ク者ハ平等ニ働ケル、從テ關稅ノ問題ナド起、テ來ル、今御話ノ石炭ノ如キモ滿洲ノ石炭ガ安イ、此安イ石炭ガ來ルナラ内地ノ石炭ガ潰レテシマウ、内地ノ石炭ハ潰レテモ安イ石炭ガ這入、テ來レバ、ソレデ宜イト云フ、併シアナタモ仰シヤッタ通り、サウスレバ日本ノ炭坑ハ潰レテシマウ、滿洲ニ於テ稼グ者ハ今日支那人ガ主デアル、併シ支那ノ労働者ヲ使、テ、日本ノ現在炭坑

ニ稼イデ居ル同胞ノ職ヲ奪フト云フコトハ、是ハ俄ニ出来ナイコトデアル、此處ハ今ノ豫算ノ問題外ニナルカモ知レマセヌケレドモ、資本、労働ノ此問題ニ付テハ世界中ノ學者、經濟家、政治家ガ殆ド論盡シテ居ルト言、テモ宜イ位デアル、此席ニ於テ現内閣ガ責任ヲ以テ滿洲ノコトニ付テハ他日斯ウスル、日本ノ労働者ヲアソコヘ入レテ、支那ノ労働者ガ安ク働クカラシテ、同

ノ通りダラウト思ヒマス、ソレカラ此公債ノコトニ付テ、滿洲ノ事件費ニ付テ、公債デナク、他ニ財源ヲ求メルト云フ御意見デアリマスガ、ソレモ今日ハサウ致シマス云フコトハ申上ゲラレマセヌ、ト云フノハ其方法ガナイ、此上若シ納稅者ニ對シテ、稅ヲ重クスルト云ヘバ、是ハ稅ガ重クナッテ負擔ガ重クナレバ、資本家トシテハ其資本カラ生ズル物ニソレヲ打掛ケルヨリ外仕方ガナイ、サウスレバ物價ガ高クナルカラ、使用者モソレガ爲ニ高イ物ヲ買ハナケレバナラスト云フコトニ關係ガ及ンデ來ル、ソレカラ又資本家ヲ害メレバ、資本家ト云フモノハ萎縮シテシマッテ、新タニ事業ヲ起シ、或ハ既ニアル事業ヲ擴張スルト云フヤウナ勇氣ハ起ラナイ、ソレハ矢張労働者ノ爲ニ不利益ナ結果ニナル、ソレカラ無產階級ト云フモノガ決、テ居ル譯デハナイ、百萬長者ト雖モ今日無產階級ハ澤山アル、千萬ノ資本ガアルト世ノ中カラ言ハレテ居、テモ、其人ノ生活ノ收支ニ於テ始終足りナイト云フコトハ、是ハ貧乏人ノ方ニ歩イテ行ク、無產階級ト云フモノ變ラヌ、一概ニ資本家資本家ト云フケレドモ、資本家ノ中ニ無產階級ガ大分アル

○小池委員 時間モナイコトデスカラ簡單

ニ申上ゲマスガ、サウ云フコトヲ私ハ御尋
スル積リデハナイ、無産階級ハドウ云フモ
ノカト云フ定義ヲ貴方ニ御尋シテ居ル譯デ
ハナイ、日本ノ無産階級ト労働者、資本家
ガ將來ドウ云フコトヲシロト云フコトヲ教
ヘテ戴キタイ爲ニ伺ッテ居ル譯デハナイ、サ
ウ云フコトハ今月此臨時議會ヲタッタ一日
デヤッテシマハナケレバナラヌト云フ時ニ
御話下サルベキモノデモナイト思フ、私モ
出來ルダケ簡單ニ御話ヲシテ居ル、時間ガ
アレバモット言ヒタイガ、簡單ニ私ガ聽キ
タイノハ、結局此公債ニ依ッテ支辨スルト
云フコトガ今日ノ狀態デ正當ト御考ヘニナ
リマスカ、或ハドウモソレハ少シ具合ガ惡
イガ、貧乏人ノ方ニハ少シ辛イガ、今日其
外ニ方法ガナイカラ已ムヲ得ズヤルト仰シ
ヤルノデアルカ、ソレヲ聽キタイ、ソレデ
色々ナコトヲ言ハレマシタケレドモ、財産
税トカ、何カ非常時ノ税ヲ取レバ資本家ガ
萎縮スルト仰シヤラレマシタ、生産費ガ高
クナッデ、結局損ダト仰シヤイマシタガ、サ
ウデアレバ同様ニ今日私ノ申上ゲマス無産
階級ハ、本當ニビ―、カン―ノデ
アリマシテ、今日ノ國民ノ全般ト云フ者ガ
購買力ガナイト云フコトハ、御承知ノコト
ト思フ、購買力ガナイ爲ニ景氣が出ナイト

云フコトモ其大キナ原因ダト云フコトハ、御
承知ノ通りダト思ヒマス、購買力ノ殆ド(ゼ
ロ)ニ近い一般國民ノ大部分ニ、遠慮ナク此
負擔ヲ新タニ課ケルト云フコトハ、ソレガ
正義デアルカドウカト云フコトヲ御伺申上
ゲマス、或ハ正義デハナイトシテモ、今日
ノ所デハ已ムヲ得ナイカラ、氣ノ毒ダケレ
ドモヤルト仰シヤルノカ、ソレヲ私ハ御伺
シテ居ル、ソレニ付テノ簡單ナ答辯ヲ御願
致シタイ

○荒木國務大臣 御話ガ何カ私ニ關係ガア

ルヤウデアリマスカラ申上ゲマス、小池君
ハ非常ニ無産階級ヲ御憂慮ニナッテ、色々御
話デアリマシタ、無産階級ダケヲ以テ滿洲
ノ原野ニ血ヲ流シタガ故ニ、無産階級ノ利
益ヲ圖レト云フコトデアリマシタガ、軍部
ニ於テハ眼中ニ無産階級デアルトカ、資本
家階級デアルトカ云フヤウナコトハ一向考
ヘテ居リマセヌ、悉ク是レ 陛下ノ赤子ト
致シマシテ同一ニ働カレ、ソレニ相應シテ
國法ニ依テ色々恩賞モアルコトデアリマセ
ウ、利益ノコトガ若シアリトスルナラバア
ルコト、存ジマス、又只今ノ御話ノ中デ、
將來ノ國軍ノ根本ノ問題ニ關係スルコトデ
アリマスカラ、特ニ申上ゲタイコトハ、貴
方ハ大衆ノ方ニ多ク御接シニナリ、又其方

面ヲ御憂慮ニナッテ居ラレルヤウデアリマ
スカラ、御願申上ゲテ置キタイト思ヒマス
ノハ、我國ノ國軍ノ基礎ト云フモノハ單ニ
利害關係ノ上ニ立チマシテ、働イタガ故ニ、
或ハ血ヲ流シタガ故ニ、何カ物ヲ欲シイト
云フヤウナ考ヲ以テ少シモ働イテ居ラヌノ
デアリマス、歐羅巴ノ某國ニ於テハ左様ナ
コトモアルヤウデアリマスガ、先程モ國體
論ニ付テ大分教ヲ戴イテ、私モ得ル所ガア
リマシタノデアリマスガ、何卒ソレ等ノ點
ニ付テハ總テ是レ悉ク同胞デアッテ、陛下
ノ下ニ於テ悉ク幸ヒデアリタイト云フ觀念
ノ下ニ於テ吾々參リタイト思ヒマス、又戰
線ニ立ッテ勞苦スル者ノ中ニ於テハ、無産者
ト御覽ニナッテ居ル方モ多數アルデアリマ
セウガ、又中ニハ立派ナ高貴ノ方モアリマ
ス、現ニ宮殿下ニ於カレテモ戰線ニ立チ、
危險ノ中ニ立タレマス、宮殿下一人亡クナ
ラレテモ、矢張一人ハ一人デアリ、百万ノ
赤子ハ矢張百万ノ赤子デアルト云フ、サウ
云フ計算的ニナルト云フコトニ付テハ、軍
隊ニ這入ラレル方ニ對シテハ、特ニ只今御
憂慮ニナッテ居ラレル御方ノ方面ニ付テハ、
此觀念ダケハ何卒御注意ヲ御拂ヒ下サルヤ
ウ御願ヲ致シマス、サナクバ我國ノ總テハ
壤レテ、我國ハ左様ナ點ニ於テ世界ニ對ス

ルコトハ出來ナイト思ヒマス、此點ニ付テ
ハ、吾々モ十分ニ働カレタ方ニ對シテハ、考
慮モ致シマスシ、又及バズナガラ出來ルダ
ケノコトヲ致シテ居リマスガ、是等ノ點ニ
付テ御注意ガアルナラバ何回デモ承リタイ
ト思ヒマス、ソレカラ關東長官ノコトニ付
テノ御話デアリマスガ、新聞ハ種々様々ニ
書カレマスノデ、私ノ申シマシタコトガ必
ズシモ新聞ニ出ル譯デモナク、又私ノ申シ
マセヌコトモ新聞ニ出マス、其點ニ付テハ
何レトモ只今ノコトニ付テハ御答ガ出來ナ
イト同時ニ、又此問題ハ自ラ御答スル問題
デモナイト思ヒマス

○秦國務大臣 只今小池君ノ御尋ノ中ニ、

南滿洲鐵道株式會社ガ非常ニ利益ヲ得テ居
ル、非常ニ儲ケテ居ル、日露戰爭ノ結果ソ
レガ一般大衆ニ報ヒラレナイデ、斯ノ如キ
一會社ガ大ナル利益ヲ占メテ居ルト云フコ
トハ、不都合デアルト云フコトノ御話デアリ
マシタガ、是ハ非常ニ誤解ヲ生ズルコトデ
アリマシテ、南滿鐵道ガ今日配當シテ居ル
ノハ僅ニ六分デアル、六分ノ配當ト云フモ
ノハ決シテ大ナル利益ト云フコトハ言ヘヌ
ト私ハ考ヘルノデアリマス、又此南滿鐵道
ガ滿洲ニ於テ鐵道事業、其他鑛山ノ事業等
ヲヤッテ居ルガ、是等ニ從事シテ居ル所ノ

社員、其他労働者ニ至リマシテハ、内地ナドニ比較致シマシタナラバ、極メテ豊ナル報酬ヲ與ヘラレテ居ルト云フコトハ、天下ガ皆認メテ居ル、滿鐵ノ社員ノ従業員ノ報酬ト云フモノハ餘程良クナッテ居リマス、之ニ依ッテ滿鐵社員、家族七万ノ人が養ハレテ居ル、斯ウ云フ状態ニナッテ居ルノデアリマシテ、決シテ此南滿鐵道ガ株式ニ對スル配當ヲ多クシテ、此従業員ニ對シテハ十分ナ利益ヲ與ヘナイ、サウ云フヤウナコトハ斷ジテナイト云フコトヲ玆ニ申上ゲテ置キマス、又關東長官ノコトニ付キマシテ、更迭シタコトガ大衆ノ利益ニ反スルトカ云フ風ナ御考ノヤウニ承リマシタガ、是ハ此關東長官ノ更迭ガ大衆ノ利益ニ反スルカ、反シナイトカ云フコトハ私ハ解シ兼ねル、又山岡萬之助君ハ政友會ノ人デアルトカ、又假ニ政友會員ノ人ヲ任用シタ場合ガアリト致シマシテモ、ソレニ依ッテ政黨ガドウ云フコトヲスル、世間デ往々誤解ガアリマスルガ、政黨ノ餌ニナルトカ、何ントカ云フコトハ斷ジテナイリマセヌ、是等ノ點ニ付テハ誤解ノナイヤウニ願タイト思ヒマス

○大口委員長 小池君マダアリマスカ

○小池委員 私が申上ゲマシタノハサウ云フ意味デハナイノデアリマス、日本ノ吾々

ノ知ッテ居リマス國民ノ大部分ト云フモノハ、働イタカラ、死ンダカラ、利益ガ欲イト云フ氣持デ戰場ニ行ク者ハ斷ジテナイト云フコトハ信ジテ居リマス、何ノ氣持モナク、純一ノ氣持デ――無產階級デアレバトテ、他ノ人間ハ其事ヲ第三者トシテ十分ニ考慮シナケレバナナイト云フ、其考慮ヲ此委員會ニ於テ御互ニシヨウト云フコトヲ申上ゲタノデ、其點ハ全ク同ジデス、ソレカラ申上ゲマシタノハ、無產階級ガ働イタカラ云々ト云フノデハナクシテ、無產階級モ働クデセウ、又其他ノ階級ノ方モ協力一致シテ働クト云フコトハ、一番初メニ申上ゲマシタガ、澤山ナ努力ヲ拂ッテ居ル者ガ無產階級デアルカラ、ソレニ對シテ相當ナ考慮ヲ拂フベキデアルノニ、其考慮ガ今迄ノ過去ノ事蹟ニ依ルト拂ハレテ居ナカッタ、將來モ亦拂ハレナイノデアラウト云フコトヲ杞憂シテ申上ゲタノデアリマス、其點ハ私ノ眞意ヲ誤解ナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又拓務大臣カラノ御話デアリマスガ、私ハソシナコトヲ御伺申上ゲテ居ルノデヤナイノデ、株主ガ餘計デ、働イテ居ル社員ガ少イト云フコトハ言ッテ覺エハナイ、御承知ノ通り滿鐵ノ株ト云フモノハ、政府ト民間デ半々デ持ッテ居ルガ、同ジ

株ヲ政府ガ持ッテ、同ジ株ヲ資本家ガ持ッテ、株ハ同ジナダガ、政府ノ配當率ト云フモノハ常ニ少イ、民間株主ノ配當ハ常ニ多イヤウニチャント定款ニ附イテ居リマス、今日ハ六分ニナッタノデスガ、大正四年迄ハ一割一分、後ハ一割ト云フヤウニ民間ノ配當ト云フモノハ莫大ナモノデアリマス、其際ニ一方同年ニ於テ政府ノ配當ハソレ以下デ、四分三厘、一番良イ時ガ五分三厘デアッタト記憶シテ居リマス、大正三年デアルト思ヒマス、サウ云フ政府ガ持ッテ居ル所ノモノニ對スル配當ハ少クテ宜シイト云フコトガ今迄ノ規則、規約ニナッテ居タ、ソレヲ其儘持續シテ、ソレガ正シイモノトシテ、今後モ之ヲ續ケテ行カレル氣持デアルカ、ドウカト云フコトヲ御伺申上ゲタノデ、社員ノ待遇ガ善イトカ、惡イトカト云フヤウナ、ソシナ小サイ問題デヤナイ、ソレヲ伺ヒタイ

○秦國務大臣 南滿鐵道株式會社ニ付テハ政府ノ命令ニ依リマシテ、政府ノ爲スベキコトヲ滿鐵ガ代ッテ居ルコトノアルハ御承知ノ通りデアアル、即チ滿鐵附屬地ニ於ケル所ノ教育、土木、衛生其他總テノ施設ハ命令ニ依テ今日行ハレテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ一箇年今日約一千三百万圓

ト云フモノハ、是等ノ滿鐵自身ノ仕事ニ屬シナイ所ノ經費ヲ拂ハナケレバナナイ、斯ウ云フ所ノ命令ヲシテ居ル爲ニ、一方ニ於テ政府ノ配當金ハ今日デハ二分ダケ――斯ウ云フコトニシテ居ル、是ハ若モ千三百万圓ダケ政府ガ自ラヤッテ、滿鐵ガ之ヲヤラナクテモ宜イト云フコトニナレバ、政府ノ配當ガ民間ト同ジヤウナ配當ヲシテモ、ソレ尙ホ滿鐵ハ利益ヲ受ケルノデアリマス、一方ニ斯ウ云フ風ナ滿鐵自身ノ爲スベキ營業デハナイガ、同時ニ外交上ノ關係等モアリマシテ、政府ハ彼處ニ直接サウ云フ風ナ行政施設ヲスルト云フコトハ、面白クナイト云フ關係モアッタデアリマセウ、ソレガ爲ニ此會社ヲシテ行政權ヲ行ハシメ、警察權ハ關東廳ガ持ッテ居ル、併ナガラ其他ノ行政權ハ總テ滿鐵自身ガ有シテ居ル、是ガ爲ニ千三百万圓、千四百万圓ト云フ大金ヲ費シテ居ル、サウ云フ風ナ關係モアリマシテ、此政府ガ持ッテ居ル株ニ對シテハ、是ノ配當ヲ少クシテ居ル、今日デハ二分シテ居ル、斯ウ云フ風ナ状態ニ立至ッテ居ル際デアリマスカラ、何モ政府ガ非常ニ損ヲシテ、滿鐵ガソレニ依テ非常ナ利益ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナコトハナイト思フ

○小池委員 モウ幾ラ申上ゲテ答辯ヲ聞イ

テモ、立場ノ違ヒデ駄目ダと思ヒマスカラ、是デ私ハ終リタイと思フガ、其位ノコトハ知テ居ルノデアリマス、行政費ヲ滿鐵ガ拂ッテ居ル(發言スル者アリ)少數派ノ意見ヲ少シ位許シテモ宜カラウ——行政費ヲ滿鐵ガ拂ッテ居ルト云フコトガ、是ガ資本家階級側ノ株主ガ配當ヲ餘計取ラナケレバナラスト云フ言ヒ草ニナッテ居ル、去年ノ六月ニ

一万株以上ノ株主ヲ呼ビマシテ、減配ノ相談ヲ致シマシタ時ニ、其反對理由ハ政府ノ代リニナッテ滿鐵ガ行政費ヲ拂ッテ居ルカラ、地方費ヲ拂ッテ居ルカラ、政府ハ少クテモ宜イデヤナイカト云フ理由デアッタと思ヒ

マスケレドモ、是ハ私ハ理由ニハナラナイト思ヒマス、ソレハ一切ノ内地ニ於ケル資本家、工場、炭坑ヲ經營シテ居ル方ガ靜ニ御考ニナレバ、矢張請願巡査ノ費用、或ハ學校ヲ建テル費用モ總テ工場ナリ、炭坑ナリノ生産費ノ中ニ含マレテ、始メテ生産費トシテ出テ來ル、サウ云フコトヲ言ヘバ限

リガナイ、獨立守備隊ノ兵士ガ守ッテ呉レルカラ、儲ケハ俺ガ取ルト云フ考ヘ方ガ今日ノ資本家ノ考ヘ方デアラウ、是ハ幾ラ申上ゲテモ仕方ガナイノデ、サウ云フ點ハ承知ノ上デ、滿鐵ノ利益ガ餘リニ大資本家ニ多イト云フコトヲ申上ゲタ、是ハ幾ラ申シ

テモ立場ノ違ヒデ意見ノ相違ト思フカラ、質問シテモ駄目ト思ヒマス、是ダケ承ッテ置キマス

○大口委員長 此場合志賀和多利君ヨリ議事進行ニ付テ發言ノ申出ガアリマス

○志賀委員 民政黨カラ大分長イ御質問ガアリ、只今無産黨ノ小池君カラ長イ御意見ヲ承リマシテ、晚餐モ致シマセヌシ、大分時間モ經ッテ居リマス、各黨ニ於テ黨議ヲ纏メル時間モアリマセヌカラ、此際質疑ヲ打ちリマシテ……

〔ノー／＼「贊成」ト呼ビ其他發言スル者多シ〕

○大口委員長 靜ニ聽イデカラ……

○志賀委員 打切りマシテ、更ニ一時休憩ヲ致サレマシテ……

〔發言スル者多ク議場騒然〕

○大口委員長 靜ニ……

○志賀委員 此際質疑打切りノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成「反對」ト呼フ者アリ〕

○大口委員長 志賀君ノ動議ニ贊成ガアリマス

〔贊成「反對」ト呼フ者アリ〕

○大口委員長 贊成アリト認メマス、贊成ガアリマス以上、委員長トシテハ採決セネ

バナリマセヌ、志賀君ノ動議ハ、質疑ハ茲ニ打切ッテ、暫ク休憩ヲ致シテ、サウシテ其上ニ於テ討論ヲ致シ決議ヲ致スト云フ動議デアリマス、志賀君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ乞ヒマス

〔贊成者 起立〕

○大口委員長 起立多數ト認メマス(拍手) 志賀君ノ動議ハ可決サレマシタ、暫ク休憩致シマス、九時十分ヨリ再開致シマス

午後八時五十二分休憩

午後九時二十分開議

○大口委員長 休憩前ニ引續キマシテ委員會ヲ開會致シマス、各案ニ對シマシテ御意見ヲ御述ヲ願ヒマス

○志賀委員 本案ハ時局柄極メテ必要ナル案デ、吾々ハ我黨同志ヲ代表致シマシテ全部政府ノ原案ニ贊成ヲ致シマス

○大口委員長 第五案ハ原案贊成、後ハ全部承諾ヲ與フルト云フノデスナ

○志賀委員 サウデス

○大口委員長 分リマシタ

○田中委員 先程カラ大藏大臣ノ答辯爲サレル態度ヲ見テ居リマス、非常ニ眞面目ナ態度デアリマシテ、私共ハ非常ニ満足致シテ居リマシタ、此調子デ行キマスナラバ、私達ハ過去ノコトハ一切聽キマセヌデ、政

治ハ現在ト將來デアリマスカラ、將來ノ御方針ノミヲ聽クコトニ依ッテ、ソレデ私達ハ了解シマスナラバ、ソレデ満足シタイ、斯ウ考ヘテ居リマシタノニ、ソレヲ聽ク機會ヲ得ナクナリマシタワトハ洵ニ遺憾デアリマス

私ハ先ヅ第一ニ兌換停止ノ承諾案カラ見テ參リマスナラバ、其兌換停止ヲサレマシタ其時ニ、政府ハ當分ノ内ト云フコトヲ述ベテ居ラレマス、隨テ適當ナ時機ガ來テ事情ガ許スナラバ一日モ早ク兌換停止ヲ廢止スル、斯ウ云フ御趣旨ト私共ハ解シマシタ、ノミナラズ一月二十一日ノ本會議ニ於キマシテ大藏大臣ノ述べラレマシタ所ハ、即チ再禁止ヲスレバ産業貿易事情ハ良クナッテ、經濟界回復ノ曙光ガ見エルト云フ御演說ヲ爲サッテ居ルノデアリマスカラ、經濟界ガ回復シ、産業貿易事情ガ良クナルナラバ、直ニ兌換停止ヲ廢止スルト云フ御趣旨ト斯ウ考ヘテ居リマシタ、隨テ政府ト致シマシテハ、必ズヤ此兌換停止ヲ一日モ早ク廢メラルベク、産業貿易ガ好轉スルヤウニ、景氣ガ回復スルヤウニ努力ヲ爲サッテ居ル筈デアリ、又其努力ノ點ニ付テ私達聽キタカッタノデアリマスガ、ソレヲ御聽スルコトモ出來マセヌシ、又本會議並ニ此委員會ニ於

テ大藏大臣ノ答ヘラレタ所ヲ私達ハ見マス
ト云フト、其點ニ付テハ政府ハ何等爲サッ
テ居ナイト云フコトガ明ニナリマシタ、此
調子デ行クトシマスナラバ、果シテ何時ニ
ナッテ此兌換停止ヲ廢メル時期ガ來ルカト
云フコトハ頗ル疑問デアリマシテ、私ハ此
點ニ付キマシテ政府ノ考ヘラレテ居ル所ト
私達ノ見ル所トハ甚シク違フト云フコトヲ
遺憾トスル者デアリマス、大藏大臣ハ先刻
再禁止以來極メテ日時ガ短イノデアルカ
ラ、經濟界ノ現狀竝ニ前途ハ分ラスト斯ウ
云フコトデアリマシタガ、本會議ニ於キマ
シテ大藏大臣ノ述べラレマシタル所ニ依リ
マスト云フト、產業貿易事情ハ良クナリ、
景氣ハ戻ル、斯ウ云フコトヲ述べテ居ラレ
ルノデアリマス、然ルニ短イ期間デハアリ
マスルガ、今日ノ現狀ハ悉クソレトハ反對
デアリマシテ、何一ツ政府ノ言ハレタヤウ
ナ事情ニナッテ居リマセヌ、短イ期間デサ
ウナッテ居ナイト斯ウ云フナラバ、ソレハ
一月二十一日ノ本會議ニ於テ述べラレタコ
トハ全く嘘デアリマシテ、虚偽ノ宣傳ヲ爲
サッタト云フ責ヲ免レヌノデアリマス（ノ
ーノ）ト呼フ者アリノミナラズ——若シ
ソレガノ——ト言ハレルナラバ、理論上
實際上サウデナイト云フコトヲハッキリ證

明セラレヌ限リハ——今其證明サレル所ノ
機會ガモウナイノデアリマスガ、證明サレ
ヌ限リニ於テハ、ノ——ト云フコトニナ
ラヌノデアリマセウ、私ハ是ニ於キマシ
テ、當分ノ内デアッテ、何時カハ之ヲ廢止
スルト斯ウ言ハレルナラバ、其爲ニ詰リ廢
止スルト云フ條件ノ揃フコトガ、果シテ何
時來ルカドウカ、サウ云フ方向ニ經濟界ガ
今進ミツ、アルカドウカ、將來モ此政策デ
行ッテ、果シテ其方向ニ經濟界ガ進ムカド
ウカト云フコトヲ、私ハ少シ議論シテ見タ
イト思フノデアリマス
一月二十一日ノ本會議ニ於キマシテ言ハ
レマシタコトハ、要スルニ景氣ガ戻ルト云
フ放送ヲサレタノデアリマス、景氣ガ戻ル
ト云フ放送ヲサレタ、其放送ヲ一々小分ケ
ニ見テ參リマスナラバ、先ヅ高橋大藏大臣
ハ、不自然ナ爲替相場ハ低落シ、物價ハ對
內的ニ騰貴スルト云フコトヲ述べテ居ラレ
マス、果シテ然ラバ、物價ハドノ程度ニ騰
貴シタカラ調べテ見マス、卸賣物價ハ十
二月十日ヲ百ト致シマス、段々騰勢ヲ執
リマシテ、二月二十七日ニ最高ニ達シテ、
一一・八・七トナリマス、其處マデハ騰勢ヲ執
テ居リマスガ、其後ニハ段々下リ氣味デア
リマシテ、今日ハ其騰勢ヲ續ケテ居リマセ

ヌ、ダカラ政府ガ豫想シマシタル所ノコトハ、
卸賣物價ニ於テハ二月ノ二十七日迄デア
リマス、然ラバ小賣相場ハドウデアるか、
東京ノ小賣相場ハ一月ノ二十九日迄ハ騰勢
ヲ取ツテ居リマスガ、其以後ハ段々下落
調ヲ取ツテ居ルノデアリマス、何ガ故ニ然
ラバ斯ウ云フコトニナッタカト申シマス、
第一ニ政府ハ高物價政策ヲ執ッテ、ソレニ
依ツテ國內ノ經濟界ノ回復ヲ圖ルト云フコ
トハ、此數字ノ示ス所デハ明ニ間違ツテ居
ルト云フコトニナルノデアリマス、又將來
是ガ騰勢ヲ續ケルカドウカト云フコトモ頗
ル疑問ナノデアリマス、斯ウ申シマス、
或ハソレハ爲替ガ下レバ物價ハ上ルガラウ
シ、爲替ガ上レテ來ルナラバ物價ハ下落ス
ルト斯ウ仰シヤルカモ知レマセヌガ、併ナ
ガラ事實ハ全く反對デ、爲替ハ依然トシテ
下落步調ヲ取ツテ居リマス、物價ノ方
ハ騰勢ヲ止メテ居ルノデアリマス、又此點
ハ英吉利ニ於テモハッキリサウデアリマシ
テ、英吉利ハ再禁止後、十一月ノ十一日迄
ハ物價ハ常ニ騰勢ヲ取ツテ居リマシタガ、
十一月ノ十二日以後ハ下落步調ヲ取ツテ居
ルノデアリマス、ダカラ此點カラ見マスル
ナラバ、何時カハ爲替ニ關係ナク下落步調
ヲ取ルト云フ時期ガ必ズヤ到來スルニ相違

ナイノデアリマシテ、大藏大臣ハソレヲ豫
見セナシト云フコトハアリ得ヌ事ナノデ
アリマス、何故サウ云フ結果ニナッタト言
ヘバ、屢、繰返シテ質問シマシタケレドモ、
大藏大臣ノ御答辯ハハッキリセズ、私達ハ
満足スルコトヲ得ナカッタノデアリマス、
即チソレハ購買力ガナイカラデアル、又金
融今日ノ梗概狀態ガ、到底物ノ賣レルト云
フ所迄行カシメナイカラデアリマス
第一何ガ故ニ然ラバ購買力ガナイカト斯
ウ申シマス、成程滿洲事件ノ爲ニ相當ノ
金ヲ使ヒマシタ、是ハ購買力ノ殖エル原因
カモ知レマセヌ、又其次ニハ株式ヤ商品ハ
騰リマシタ、其財産評價ノ増加ダケガ或ハ
購買力ノ殖エル點カモ知レマセヌ、事業會
社ガ思惑デ買ヒマシタ原料ガ相當ニアリマ
ス、又在庫品ガ相當ニアリマス、ソレ等ノ
値上リト云フノハ、或ハソレハ購買力ノ殖
エル原因カモ知レマセヌ、併シ其次ノ問題
ニナッテ來マス、常ニ民政黨ノ金解禁ノ時
代ニ於キマシテ政友會カラ質問サレタコト
ハ、コンナニ物ガ下ッテハ借金ヲシテ居ル
人間ハ到底ヤリ切レヌ、昔ハ米ヲ一石賣レ
バ拂ヘタモノガ、今ハ一石五斗モ二石モ賣
ラナケレバナラス、是デハ到底ヤリ切レヌ、
此借金ヲドウスルカト云フコトガ常ニ繰返

サレテ居リマシタ、然ラバ果シテ物價ガ騰々タ爲ニ、今日ハ其借金ヲシタモノガ樂ニナツタカ、而シテ彼等ノ購買力ヲ増加スル程度マデニ行クコトガ出來タカト云フト、成程頭金ノ切レタ擔保ハ或ハ多少ソレデ樂ニナツタカモ知レヌ、擔保切レニナツテ居ルモノハ或ハソレニ依ッテ多少樂ニナルカモ知レマセヌガ、新ニ借金ヲスル餘地ハ到底今日ノ場合出來テ居リマセヌ、更ニ物價ガ高クナルカラ、又株式ガ高クナリマシタナラバ、ソシナコトニナルカモ知レマセヌガ、今日ノ狀態ヲ以チマシテハ其處マデ行キマセヌ内ニ、早クモ卸賣物價ハ騰勢ヲ止メテ居ル、ダカラ到底購買力ハ出マセヌデセウ、ノミナラズ多數ノ株式ヲ有テ居ル者ハ、大體ニ於テマダ損勘定ト見ルノガ至當デアリマス、是ガ英吉利デアリマシタナラバ株式ヲ有テ居ル人ガソレヲ擔保ニ入レルガ如キコトハ極メテ少イガ、日本デハ大多數ガ擔保ニ入レテ借錢ヲシテ居ルノデアリマスカラ、此點カラハ購買力ハ出マセヌ更ニ一般民衆ノ購買力ハドウカト云ヒマスト、收入ハ増加シテ居ナイ、公債ノ所有者モ、月給取モ、勞働者モ増加シテ居リマセヌ、而モ物價ガ高クナツテ居ル、米ガ高クナリ生活費ガ高クナツテ居リマス、隨テ購買	力ノ減退ト云フコトニナリマセウ、斯ウ云フ狀態カラ見マスナラバ、物價ガ將來高クナルト云フコトハ考ヘラレマセヌ、ソコデ更ニ金融方面ヲ見マス、金融方面ハ今日全ク困ッテ居ルノデアリマシテ、其困ッテ居ル狀態ヲ見ナラバ、通貨ハ甚シク減少シテ居リ、金融方面ハ今日極度ニ困ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マスナラバ、物價ノ將來ト云フモノハ大藏大臣ガ演說ヲナサツタ通りニハナリマスマイ、今日上リマシタ所ノ物價ハ何故上ツタカト云フト、爲替安ニ依ル輸入原料高、次ハ先高見越ノ人氣、モウ一ツハ凶作ニ基ク米ノ供給減ト云フトデ騰ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ荷動ヲ見ルニ十二月ト一月ハ多少活潑ニナリマシタガ、二月ニハ反動ガ來テ居リマス、又在庫品ハ個數ニ於テモ減リマセヌシ、金額ニ於キマシテモ減リマセヌシ、而モ在庫高ガ段々ト殖エテ、出庫高ノ減ッテ居ル所カラ見マスナラバ、物價ガ高クナツタカラト云ッテ、商勢ガ良クナツタ、商賣ガ好クナツタト云フ原因ニハナリマセヌノデ、物價ヲ高クシテ景氣ヲ戻スト斯ウ言ハレマシタコトハ、明ニ間違ッタ放送デアッタト云フコトニナルノデアリマセウ	カ、對外的ニハ物價ヲ下ゲル道理ニ基イテ外國貿易ガ良クナルト云フテ居ラレマシタガ、是ガ明ニ間違ッテ居ルト云フコトハ、大藏大臣ノ御答辯デモ明デアリマスガ、三月二十日迄ノ概算ヲ見マスナラバ、昭和六年ノ輸出ハ二億六千万圓デアッタガ、昭和七年ノ輸出ハ二億一千万圓デ、約六千万圓減デアリマス、ソレカラ更ニ輸入ヲ見マス、六年ハ二億八千万圓デ、七年ハ三億三千九百万圓デアリマスカラ、輸入ノ方ハ五千九百万圓殖エテ居リマス、斯ウ云フ狀態デアリマス、一體貿易ハ物價ガ高クナツテ居ルカラ、價格ニ於テハ減少セヌノガ當リ前デアリマスケレドモ、ソレガドウカト云フト、價格ニ於テ大ナル減少ヲ示シタノミナラズ、輸出ハ著シク減退致シマシテ、輸入ガヒドク殖エテ居ルノデアリマス、高橋サンハ貿易ガ良クナルト言ハレマシタガ、英吉利モ九月マデハ輸出入共ニ減退ノ傾向ヲ取ッテ居ッタノニ、二十一日ニ再禁止ヲ致シマス、十月以降ノドウカト云フト、輸出ガ甚シク減退致シマシテ、輸入ガ甚シク殖エテ居ルノデアリマス、殊ニ三十一年ノ貿易ヲ三十年ニ較ベマス、輸入ハ一割六分減デ、輸出ハ三割一分減デアリマス、斯ウ云フ事實ハ大藏大臣ハ無論御存ジノ筈デア	リマス、ダカラ貿易ガ良クナルト云フコトハ、少クトモ再禁止後當分ニ於テハサウハナラヌノデアリマスカラ、此點ニ於テモハッキリ間違ッタ放送セラレタト云フコトニナル、ノミナラズ、輸出入ノ狀態ガ惡クナツタケレドモ、適當ノ時機ヲ待テバ良クナルカモ知レヌト云フ御話デアリマシタガ、併シサウ云フコトヲ言フノニハ第一ニ輸出ト輸入ノ狀態ヲ見ナクテハナリマセヌ 輸入デ最モ大キイノハ棉花デアリマス、其棉花年度ノ八月カラ以降ノ棉花ノ輸入狀態ヲ見ルト、五年ノ八月カラ六年ノ三月二十日マデハドンナ事ニナツテ居ルカト云フト、五百九十九万三千「ピクル」デアリマス、然ルニ今年ハドウカト云フト、六年ノ八月カラ七年ノ三月二十日マデノ輸入ハ、七百八十万二千「ピクル」デアリマス、差引百九十万九千「ピクル」約三割増デアリマス、此點ヲ見マシテ、最近新聞ヤ雜誌アタリデ、モウ十分ニ買ッテ居ルカラ今後ハ大ナル必要ナシト言ハレテ居リ、又先刻大藏大臣モ其ヤウナリ調ノ御返事ガアリマシタガ、事實ハサウデハナイノデアリマシテ、最近ノ爲替ガ日ニ々々下ルト、ドンナ事ニナルカト云フナラバ、段々ニ先安ト見テ居ルカラニハ、是ハ買ハザルヲ得ヌンデアリマス、又
---	---	--	---

今日紡績ノ採算ハ現實ニ採レタヤウニ言、テ居リマスガ、思惑デ安イ棉花ヲ買付ケテ居ルカラ採算ガ採レルノデアリマス、ダカラ是デ味ヲ占メタ紡績業者ガ、將來ドシドシ安イ物ヲ買フコトハ當然デアリマシテ、荷モ資金ガアルナラ何處マデモ買續ケデ行キマセウ、ダカラ最近銀行家ガ非常ニ困ッテ居ル、ソレハドシ／＼銀行ノ貸出ハ殖エル、貸出シタ金ハ品物トナッテ這入ッテ來ル、ソレヲ再ビ銀行ニ擔保ニ入レルト云フ狀態デアル、ダカラ此傾向ガ續クナラバ、爲替安ダト云ッテ輸入ハ減退シナイノデアリマス、爲替安ダカラ輸入ガ減退スルト云フコトニハ到底ナラヌノデアリマス

然ラバ其他ノ品物ヲ見ルトドウカ、小麦ニシテモ、羊毛ニシテモ、鐵ニシテモ、ソレカラ油粕ニシテモ、豆類ニシテモ悉ク殖エテ居ルノデアリマス、小麦ノ如キハ去年ニ較ベテ約二割、羊毛ノ如キモ可成殖エテ居ル、鐵ノ如キハ二割五分、油粕ノ如キハ六割、豆類ノ如キハ四割ト殖エテ居ルノデアリマスカラ、輸入ガ減退スルト云フコトハコ、暫クハ、一月半デハ到底望メヌノデアリマス、然ラバ輸出ノ方ハウマク行ク見込ガアルカト申スト、重要輸出品ニ就イテ見マセウ、生絲ヲ見ルト、生絲ハ成程大差

ナササウダ、然ラバ生絲ハ將來ドシ／＼賣レテ行クカト云フト、米國ノ最近ノ織機ノ動イテ居ル狀態ハ、昨年二月ノ如キハ全體ノ七割三分デアリマシタガ、本年二月ハ五割六分シカ動イテ居リマセヌ、サウ云フ點カラ見ルナラバ將來ドシ／＼賣レルト云フコトニハナリマセヌデセウ、在庫品モ亦相當澤山ニアルノデアリマスカラ、此在庫品ノ相當澤山アル所カラ見ルト、生絲ガ段々賣レテ、ソレニ依ッテ貿易ガ良クナルト云フコトハ考ヘラレナイデアリマス

更ニ其次ニ綿織物ヲ見マスト云フト、其綿織物ハ最近ニナリマスト、何處ヘ賣ルカ、印度ヘ持ッテ行ッテ——支那ガイケナクナッタ後ハ、印度ヘ持ッテ行ッテ賣ッテ居、タノデアリマスガ、印度ハ最近國內ノ政治上ノ不安カラ皆ク賣レマセヌ、又關稅引上ゲト云フコトヲ豫想シテ居リマスカラシテ、皆ク賣レマセヌ、斯ウ云フ狀態デスカラ、新規ノ取引ト云フコトハ難シイト考ヘナケレバナリマセヌ

斯ノ如ク見テ行キマスト……

〔發言スル者多シ〕

○大口委員長 靜肅ニ願ヒマス

○田中委員 貿易ノ方ハ、ハッキリ政府ノ豫想ニ反シマシテ、輸入ハ増加スル、輸出ハ

減退スル、此傾向ハ少ナク共當分續クデアリマセウ、又此點カラ言ヒマスナラバ、高橋サント致シマシテハ、ソレハサウダケレドモ、輸入ハ適當ニ……

〔發言スル者多シ〕

○大口委員長 靜肅ニ願ヒマス

○田中委員 高橋サンハ輸出ハ大ニ増進シテ行ク、ソレニ依ッテ經濟界ハ良クナルト言ハレマス、然ラバ國別ニ貿易ヲ見テ、ドンナヤウナコトニナッテ居ルカラ一ツ見マセウ、國別ノ貿易ハ二月ノ末日マデシカ政府ガ發表シテ居リマセヌ、其二月末日マデノ數字デ見マスト、對米貿易ハ、六年ニハ輸出ガ四千百万圓デアッタノガ、七年ニハ三千一百万圓ニ減ッテ居リマス、輸入ノ方ハドウカト云フト、六年ハ二千六百万圓デアッタノガ、七年ニハ三千七百万圓ニ殖エテ居ルノデアリマス

然ラバ其次ニ支那ノ貿易ハドウカト云フト、支那ヘノ輸出ハ昨年ハ四千二百七十五万圓デアッタガ今年ハ二千五百六十六万圓デ約四割程減ッテ居ル、一番大切ナ支那ヘノ輸出ガ約四割程減ッテ居ルノデアリマス、サウシテ輸入ノ方ハドウカト云フト、殆ド減ッテ居リマセヌ、此點カラ見マスナラバ、支那ノ貿易ノ將來ハ多ク望ヲ囑スルコトハ

出來マスマイ、固ヨリ滿洲及關東州ノ貿易ハ殖エテ居リマスガ、支那ノ貿易ノ中デ一番大キイ、一番大切ナモノハ中部支那ニ對スルモノデアリマス、其中部支那ニ對スル貿易ハ事件ノ突發以來甚シク減少シテ居ルノデアリマス、是ハ滿洲ノ事件ガ綺麗ニ片付キマスカラ輸出ハ増進スルデアラウ、曩ニ大藏大臣ハ今日ノ爲替ノ下ツタ原因ハ支那ノ事件ニ關スルコトガ多イノダカラ、是ガ旨ク行クナラバ爲替ハ戻ル、貿易モ良クナルデアラウト言ハレマシタガ、事件ガ旨ク解決致シマシテ、直グニ商權ガ回復スルカ否カハ是ハ頗ル疑問デアリマス、

軍事的ノ問題、外交的ノ問題ガ片付イタカト云ッテ、ソレガ爲ニ商權ガ回復スルカ否カト云フコトハ頗ル疑問デアリマス、上海ニ於ケル商賣人ハ可ナリ兵火ノ爲ニ惱マサレマシテ、ソレニ依ッテヒドク傷イテ居ル、品物モナクナリ、金モナクナッテ居ル、斯ウ云フ連中ガ果シテ元ノ通りニ商賣ヲ始メルカドウカト云フコトヲ考ヘマスナラバ、即チ中部支那ニ對スル貿易ニ大ナル望ヲ囑スルコトハ出來マスマイ、サウスルト中部デ失ヒマシタ所ヲ滿洲ト關東州デ補ハウト斯ウ申シマシタ所デ、ソレハ中々難カシイ事デアリマス、隨テ之ヲ南洋方面ニ於テ補ハ

ウト致シマス、南洋方面ニ於テモ中々難カシイ、昨年ニ於テハ印度トカ、蘭領印度ヘ相當輸出ヲシテ居リマシタ、ケレドモ日本ガ出ウト云フ出鼻ハ悉ク向フノ政界ノ不安ノ爲デアルトカ、或ハ關稅引上ゲトカデ抑ヘラレテ居ルノデアリマシテ、輸出貿易ノ將來ト云フコトニハ大キイ望ミハ囑セラレマセヌ、斯ウ申シマス、僅カナ期間ダカラ貿易ガ惡イノデ、遠カラズ貿易ハ好クナルデアラウト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是レ悉ク見當違デアリマシテ、事實ノ認識不足ニ基クモノデアラウト思ヒマス

更ニ高橋大藏大臣ノ仰シヤルノニハ、貿易ハ第二、産業第一ダト云フコトデアリマス、貿易ガ非常ニ惡イト云フコトヲ突込ムト、ソレハ日本ノ經濟界ニ取ッテハ、第二次的ノ意義シカ持タヌノデ、産業ニ力ヲ入レテ居ルノダト言ハレマス、然ラバ産業ガ、再禁止ニナッテ行ッテ居ルカドウカト云フコトヲ、數字デ申上ゲテ見タイと思フ、ムヅカシイ理屈ヲ拔キニ致シマス、爲替ガ下ッテ物ガ賣レルト云フコトハ、ドウ云フコトヲ意味スルカ、第一ハ爲替ガ三割六分程下ッテ居ル、三割六分程爲替ガ下ッタ時ニハ、純然タル外國カラ輸入スル物ハ、五割八分

程上ルノガ當然デアリマシテ、同時ニ又日本カラ外國ニ賣リマス物モ、爲替ガ三割六分下ッタ時ニ、日本ノ品物ノ値上リガ五割八分以下デアル場合ニハ、低爲替ヲ利用シテ賣レルト云フコトニナルノデアリマスソコデ

日本ノ産業ヲ二ツニ分ケマシテ、第一ハ國內ノ原料ヲ使フモノト、海外ノ原料ヲ使フモノトニ分ケテ見マセウ、海外ノ原料ヲ使フ代表的ノモノハ綿業デアリマス、其綿業ヲ一ツ見テ行キマスナラバ、原料綿ノ輸入價格ハ、十二月ノ十日ヲ百ト致シマシテドシナ事ニナルカト云フト、五割八分マデ上ッテ居ルノナラバ當然ノ値上リト云フコトガ出來マスガ、實際ニハドウカト云フト、三月十二日ノ計算デハ、米棉ハ七割四分七厘ノ値上リデアリマス、印度棉ハ七割七分六厘上リデアリマス、此計算ニ基キマス、國內産業ハ景氣ガ良クナルト言ハレマスケレドモ、確ニソウカト云フト、日本ノ原料ノ値上リガヒド過ギルノデアリマシテ、採算ガ困難ト云フコトニナラザルヲ得ヌノデアリマス……

(發言スル者多シ)

○大口委員長 チョット田中君、アナタノハ

此問題ノ反對演說デスカ、贊成演說デスカ

○田中委員 今ニ結論ニ行キマス

○大口委員長 反對演說デスカ、贊成演說デスカ、ソレダケヲ承ッテ置キタイ、ソレダケ先……

(委員長、餘計ナ事デヤナイカ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○大口委員長 委員長ガ聽イテ居ッテ分ラヌノデ、此問題ニ反對デアルトカ、贊成デアルトカラ承ッテ置キタイ

○田中委員 結論マデ行キマセヌト多シ……

(討論ノ體ヲ爲サヌデヤナイカ)「耻ヲ知レ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○大口委員長 靜ニ……靜肅ニ……

○田中委員 原料ガ高クナッテ、品物ノ賣値ガ高クナレバ宜イデヤナイカト云フノガ、政友會内閣ノ態度ラシイノデアリマス然ラバドシナ結果ニ綿業ガナッテ居ルカト云フト、綿絲デ云フト、太物二十番手ヲ見テ行キマス、十二月ノ十日ヲ百ト致シマス、三月十二日ノ値上リハ六割三分四厘デアリマス、斯ウ致シマスト低爲替ノ利益ヲ受ケヌト云フコトニナリマス、然ラバ粗布ニ就テハドウカト云フト、六割五分二厘上リデアリマス、此點カラ見テモ、低爲替ニ依ッテ輸出ガ殖エテ産業ヲ刺戟スルト云フコトハ、明ニ嘘デアリマシテ、若シ是

ガ眞ニ産業ガ成立タウト云フノニハ、モット物價ガ下ルカ、即チ紡績綿製品ノ價格ガモット下ルカ、下ルトスレバ高イ原料ヲ買ウテ安く賣ルノダカラ、投資ト云フコトデ儲カラヌコトニナリマセウシ、又サウデナクテ物價ヲ此儘デ外國ヘ出サウト云フノニハ爲替ヲモウ一層下ゲネバナヌコトニナリマス、爲替ヲモウ一層下グルトスレバ、海外カラ高ク買入レテ安く賣ルト云フ投資ヲ繰返スダケデ、綿業ハ旨ク行キマセヌ、今日綿業ガ旨ク行ッテ居ルヤウニ思ヘルノハ、ソレハドウカト申シマス(發言スル者アリ)其綿業ニ付テ申シマスナラバ、再禁止ニ依ッテ爲替ガ安クナリマシタ、其爲ニ原料ガ高クナッテ採算ガ困難ニナッテ、而モソレガ旨ク行ッテ居ルヤウニ思ヘルノハ、見越ノ輸入デ安イ時ニ買ウテ居ルカラ旨ク行ッテ居ルノデアル、然ラバ製品ノ價格ハドウカト云フト、爲替ガ動搖シマス爲ニ取引ガ閑散デアッテ、爲替ノ動搖スル限リハ旨ク賣レヌト云フコトハ明カナコトデアリマス、更ニ海外ハドウカト云フト、爲替「ダビンギ」關稅ヲ課ケテ居ルノダカラ此方モイカヌ、ダカラ此等ノ點カラ見テ行キマスナラバ、綿業ガ良クナルト云フ結論ニハナリマセヌ、再禁止ニ依ッテ一時補助金ヲ

得タト云フコトニナリマセウガ、何時カハ其補助金ガ消エテシマフノデアリマシテ、思惑原料ガ無クナッテ來マスナラバ、モウ一遍苦シクナッテ來マセウ、一時儲カリマシタ利益ト云フモノハ何時カハ配當サレナケレバナラス、勞働者ハ分配ヲ要求スルデアリマセウ、當然デアリマス、サウシマスト其利益ノ無クナリマシタ後ニ於キマシテハ、全然其意義ヲ成サナクナリマス、綿業ニ關スル限りニ於キマシテハ、再禁止ヲシナクテモ立派ニ印度ニ對抗スルコトガ出來タノデアリマス、ソレニモ拘ラズ再禁止シマシタバカリニ、コンナヤウナ結果ニナッタノデアリマシテ、再禁止ニ依ッテ景氣ガ戻ルト云フ結論ニハ到底ナラヌト考ヘルノデアリマス

然ラバ生絲——絹業ノ方ハドウカ、絹業ノ方ハ國內原料ヲ其儘ニ利用スルノデアリマスカラ、隨テ此點ニ付テハ相當ノ利益ヲ受ケナケレバナラス、海外ノ原料ヲ買フニハ爲替安ニ依ル原料高ノ損失ニナリマスケレドモ、國內ノ原料ヲ使フ者ハ明ニ利益ニナルヤウニ考ヘラレマス、然ラバ再禁止ニ依ッテ多少デモ利益ヲ受ケテ居ルカ、斯ウ申シマストサウデハアリマセヌ、爲替ガ下リマシタ爲ニ亞米利加ノ弗デ現シタ「ナシ

ヨナル」相場ハ下リマシタ、ケレドモ圓デ現シマシタ日本ノ相場ハ餘リ上ッテ居ラス、何故ソシナコトニナルカ、世界ノ主要生産地デアル日本デ生絲ノ價格ヲ決メルベキデアルノニ、サウ決ラズニコンナヤウナ結果ニナッタコトハ何デアルカ、斯ウ申シマス、ソレハ生絲ニ付テハ第一ニ米國以外ニ大ナル市場ガナイカラデアル、生活ノ必需品デアリマセヌシ、人絹ノ代用品ニ押サレルカラデアリマス、斯ウ云フ結果ノ爲ニ爲替低落ノ利益ハ大半亞米利加ニ奪ハレルコトハ當然デアリマシテ、此點ハ今ニナッテ決ッタコトデハナイ、嘗テ支那ニ於キマシテ爲替ガ下リマシタ時ニ、輸入品ノ價格ハ騰貴率ニ從ヒマシテ直グニ上リマシタガ、輸出品ノ價格ノ騰貴ハ極メテ微弱デアル、是ハ海外ハドウカト云フト、爲替ノ安クナッタ差額ダケヲ叩キ付ケラレルト云フコトナノデ、全ク利益ハ日本ニ來ヌト云フコトハ前以テ分ッテ居ッタノデ、是デ國內産業ガ良クナルト云フコトハ當然考ヘラレマセヌシ、又多少安クナッテ、六百二十圓程度ナラ或ハ賣レルカモ知レマセヌケレドモ、賣レタカラト云ッテ手取ハサウ殖エルト云フコトニハ行カヌノデアリマス、斯ウ考ヘマスナラバ、而モ此生絲ニ付テハ爲替

ガ動搖シテ刻々相場ハ變ッテ參リマス爲ニ、取引ノ出來ヌ狀態デアリマス、是ハ昭和三年ノ下期ニ於キマシテ爲替ガヒドク動搖シテ居リマス、其時……(發言スル者アリ議場騒然)動搖ガ甚シクテ商賣ガ出來ナイノデ、金解禁ヲシテ吳レト云フ要求ヲ致シマシタ、其要求ノアツタ時ト今日ハ同ジ狀態デアリマス(發言スル者アリ議場騒然)斯ウ云フ點カラ見マシタナラバ國內ノ産業ハ良クナルト云フコトハナイデヤアリマセヌカ(發言スル者アリ議場騒然)

更ニ一般ノ産業ニ就テ見テ行キマセウ、操業短縮ハ緩和サレテ居ルカドウカ、産業ガ良クナラナクチャ兌換停止ハ廢止出來ヌデヤアリマセヌカ、一般ノ産業ニ付テ見テ見マセウ、其生産制限短縮ノ緩和ナレタモノガアルカト申シマス、今尙ホ高率ノ生産制限ヲサレテ居ルデヤアリマセヌカ、又操短率ヲ引上ゲタモノガ少クナイノデアリマス、サウ致シマスと景氣ハ到底好クナルト云フコトニハナラヌノデアリマス、然ラバ多少デモ操業短縮ヲ緩和シタモノガアルカト申シマス、是ハ全然緩和シタモノガナイデハアリマセヌ、ソレハ支那ノ事件ノ爲ニ多少需要ノ殖エタモノガ幾ラカアリマセウ、其次ニハ長期高率ノ操業短縮ノ爲ニ需

要關係ガ多少改善サレタ、ソレガ爲ニ操短ヲ減シタト云フコトハアリマセウガ、最モ大キイ原因ハ何カト云フト、再禁止ノ爲ニ、即チ先高人氣ニ依リマシテ、ソレニ依ル思惑需要ノ爲ニ操業短縮ヲ緩和シタト云フコトデアリマス、サウダカラ實際ノ需要ニ伴ウテ居ラス、此點カラ見マスナラバ、經濟界ガ恢復シテ、ソレニ依ッテ兌換停止ヲ止メルト云フコトハ到底當分ハ考ヘラレヌデアリマス、當分ノ内ト云ウテ兌換停止ヲセラレタガ、産業上カラ見ルト當分ノ内デ宜イト云フ見込ハ立タヌノデアリマス然ラバ金融ノ方面ハドウナッテ居ルカト見マス、通貨ノ數量ハ少シモ殖エテ居リマセヌ、殖エテ居ラスノミナラズ、日本銀行ハ兌換券ノ發行高ヲ減少シテ居ル、殖エテ居リマセヌ、「インフレーション」ノ何ノト言ヒマスケレドモ、減ッテ居リマス、而モ民間ノ一般預金ハ著シク減少シテ居ルノデ、貸出ハ減茶苦茶ニ殖エテ居リマスカラ、日本銀行トシマシテハ到底足モ腰モ立タヌト云フノデ、是レ以上ニ何カシヨウトシタッテ……(發言スル者アリ議場騒然)日本銀行ノ軍事公債以外ニ大キイモノヲ引受ケルカハナイデアリマセウ更ニ其次ニ何故金融ガ今日ノヤウニ困

テ居ルカト云フト、資本ガ逃ゲテ居ル、海外ニ逃ゲタ逃避資本ハ爲替ガ安定シナケレバ到底日本ニ還ッテ來マセヌ、爲替ガ先ヅ安定ト見越シテ居ル間ハ到底海外ニ行ッテ居ルモノハ還ッテ來マセヌノミナラズ、政府ハ出テ行キマシタ金ヲ戻サウト云フ方策ハ少シモ考ヘテ居リマセヌ、ダカラシテ是ハ到底ソレニ依ッテ逃避資本ヲ引戻スト云フコトニハナラヌノデアリマス

更ニ一般ノ銀行ヲ見マスナラバ、政友會

ノ宣傳ニ依リマシテ資金ノ財物化ノ運動ガ非常ニ激シイカラ、預金ヲ引出シテ株ヲ買フ、商品ヲ買フ、斯ウ云フ點カラ見マスト預金

ガ減少スルコトハ當然デアリマセウ、預金ガ減少シテ居ルノニ更ニ銀行ハ弗買ヲシテ居ル、其弗買ノ爲ニ資金ガナクナ、テ居ル

ノデ、六年ノ十月迄ノ預金ノ減少ハ、主トシテ地方銀行ノ預金ノ減少デアリマシタガ、

六年十月以降ノモノハ東京大阪ノ大銀行ノ預金ノ減少ガ甚シイノデアリマシテ、是ハ即チ弗買ノ結果デアリマセウ、斯ウ致シマスト、銀行ハ預金ノ減少ト、自己計算ニ依ル弗買トノ二重壓迫ヲ蒙ッテ居ル、ダカラシテ貸出ヲ回收スルコトハ當然デアリマセウシ、貸出ヲ回收シマスカラシテ、借金ヲスル御客サンハ苦シンデ居ル、斯ウ云フ状態

デアリマシテ、一流銀行デサヘ新規ノ貸出ヲスル能力ガナイノニ、二流以下ノ銀行ハドウカト云フト、月半ノ非常ニ樂ナ時デサヘ、「コール」ト日銀ノ貸デヤリ繰リスルト云フヤウナ状態デアルカラ、非常ニ困ッテ居ル、斯ウ云フ風ニ金融界ガ困ッテ居ル、ソレニ再禁止ニ依ッテ油ヲ掛ケタト云フコトハ事實デアリマス、ナゼナレバ、再禁止ヲセヌデ置キマシタナラバ、斯ウ云フ逼迫ハシナカッタデアリマセウ……

〔ノーノ〕「其他發言スル者多シ」

○大口委員長 御靜ニ——オ靜ニ——靜ニシタ方ガ早ク濟ム

○田中委員 然ルニ再禁止ヲシタ爲ニ、其情勢ヲ強メタ、斯ク申シマス以上ソノ原因ヲ擧ゲテ見マセウ……

〔討論ヲシロ〕「討論ニナッテ居ナイデヤナイカ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○大口委員長 靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ——少シ靜ニ願ヒマス、其方ガ早ク進行シマス、牧野君

○田中委員 再禁止ヲシタ爲ニ、一般的情勢ヲ強メタト云フ例ヲ二三擧ゲテ見マセウ、第一ハ何カ、再禁止ニ依リマシテ爲替相場ガ崩レル、前途更ニドウナルカト云フ状態デ皆目分ラヌ、悲觀サレテ居ルト云フ

状態デアリマスカラ、逃避資本ハ還ッテ來ルト云フ見込ガナイノハ事實デアリマス、是ハ明ニ再禁止ノ爲ニ金融ノ逼迫ヲ助ケタ點デハアリマセヌカ、第二ノ原因ハ何カト云フト、物價ガ高クナッテ、先高見越ガ濃厚デアリマスカラ金カラ物ヘト云フ轉換運動ガ段々烈シク、即チ殊ニ商品ノ思惑的ノ需要ガ多イカラ貸出ガ殖エルコトハ當リ前デハアリマセヌカ、而モ是ハドウカト云フト、再禁止ノ御蔭デヤアリマセヌカ

更ニ其次ニハ、物價ハ騰貴シテ居ルノダカラ、當然或ル程度ニ通貨ガ膨脹シナケレバナライノニ、而モ通貨ノ數量ガ減ッテ居ルト云フコトハ、即チ是ガ今日ノ金融逼迫ヲヒドクスル、ダカラ斯ウ云フ金融逼迫ガヒドクナッテ居ル結果カラシテ、金融恐慌ガ出テ來タノデアリマセヌカ、東京、大阪ハ一流銀行ノ勢力範圍デアアルカラ、流石ニ出ナカッタガ、名古屋ニ出テ行ツテ、名古屋ハ羊毛ノ再禁止ニ依ル思惑買デ、「ストック」ハ殖エルシ、物ハ賣レヌデ困ッテ居ル、其困ッテ居ル所ノ名古屋ノ弱イ銀行ヲ通シテ、金融恐慌ノ狼烟ヲ揚ゲタノデアリマス、二月末カラ三月八日頃マデ名古屋デハ三井三菱ノ支店ヲ除ク外、安田、住友、川崎、第百マデモ取付ヲ受ケルト云フ状態デハアリマ

セヌカ、是ハ政友會ノ再禁止ノ御蔭ト言ハナケレバナラヌ、人心ハ非常ニ不安ダシ、動搖シテ居ル、然ラバドウカト云フト……〔金融恐慌ハ誰ガ作ッタ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ」斯ウ云フ事ニナル、將來之ヲドウスカト云フコトニ付テハ、大藏大臣ハ幾ラ聽イテモ對策ガ述べラレヌデヤアリマセヌカ、當分ノ内ト云フテ置キナガラ、而モ其對策ハ少シモ述べラレナイ、今マデニヤラレマシタ對策ニ何ガアルカ、日本銀行ノ

日歩ヲ引下ゲタノデアリマス、大藏證券ノ入札發行ヲヤメマシテ確定利付ニシタッケデヤアリマセヌカ、其他ハドウカ、預金部デ多少公債ヲ引受ケルトカ、或ハ日銀デ公債ヲ引受ケル位デ、見ルベキ對策ハナイ、金融恐慌ヲ自分デ拵ヘテ置イテ……〔何ヲ言ッテ居ル〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ」ソウスレバ將來ドウナルカト云フト、恐ラクハ兌換券ノ増發ト斯ウ云フノデアリマセウ、兌換券ヲ増發スルト云フコトハ——即チ兌換券ヲ増發スルコトハ、ソレヲ旨ク纏メヨウ、斯ウ云フノデアリマセウ、併ナガラ爲替安ニ依ッテ物價ガ高クナル時ニハ……

〔金融恐慌ハ誰ガ作ッタ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○大口委員長 靜ニ願ヒマス——靜ニ願ヒマス

○田中委員 兌換券ヲ増發スルニハドウカト云フト、一般ノ購買力ガ増加スルマデ進ミマセヌト、到底兌換券ノ増發ハ望メマセヌ、然ラバ通貨ヲ殖ヤスコトハ何デアルカト云フト、ソレニハ購買力ヲ殖ヤスヨリ仕方ガナイ、購買力ヲ殖ヤスニハ、以上述べマシタ如ク新規ノ事業デモ起シマセヌケレバ、到底購買力ガ増スモノデハナイ、其新規事業ヲ起サウト云テモ、民間ニ其資金ガナイデヤアリマセヌカ、預金部デ其資金ヲ引受ケル、ソレハ二億圓足ラズデアアル、日本銀行モ二億圓位シカ引受ケルコトガ出來ヌ、而モ今日聽キマスド、二億五千萬圓見當ノ軍事費ガ、ドウシテモ今年度中ニ要ル、是ダケノモノヲ出スト云フコトニナレバ、日本銀行ニ於テ大キナ資金ヲ引受ケル餘力ガナイデアリマセウ、若シ強イテ産業五箇年計畫デモヤリマシテ、ソレヲ引受ケルト云フコトニナッタラ、日本銀行ハ緊急ノ場合ニ市場ヲ救済スルト云フ能力ハナクナルデアリマセウ、斯ウ致シマス資金ハナイノダシ、而モドウカト云フト通貨ハ日ニ減少シテ居ル、何故減少シテ居ルカト云フト、殖エル方ノ見込ハナイシ、減ル方

ハドウカト云フト、貿易ノ輸入ハ増加シテ居ルシ、貿易外ノ受取勘定モ減少シテ居ルノデアリマシテ、恐ラク今年中此傾向ヲ續ケルノデアリマセウ、續ケルト致シマシタナラバ、即チ通貨ハ殖エル見込ハアリマセヌ、更ニ逃避資本ハ戻テ來マセヌシ、更ニ是等ノ逃避資本ハ……(發言スル者多シ)大

戰ノ好況時代ニドウカト云フト、好況時代ハ信用膨脹ノ結果ト云フケレドモ、是ハ表面的ノコトデアリマシテ、其眞ノ原因ハ何處ニアルカト云ヘバ、ソレハ輸出ノ増進、輸入ノ減退、受取勘定ノ増加ニ基イテ居ル、併シ現今ハ悉ク其正反對デアリマス、ダカラ、兌換券ヲ増發スル要求ト減少スル傾向トヲ差引致シマス時ニハ、果シテ金融關係ガ旨クナルカドウカ頗ル疑問デアリマス、ソレニ持ッテ來マシテ市中ノ銀行ハドウカト云フト、新聞紙ノ傳ヘル所ニ依リマス、検査官ヲ増派シテ之ヲ取締ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、是ハ意義ノナイコトハ無論デアリマス、サウシテ大藏大臣ノ意向トシテハ、成ベク市中ノ銀行ハ日本銀行ニ依頼スル……

○大口委員長 靜ニ——靜ニ願ヒマス——
〔何ヲ言フ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

一瀬君靜ニ——田中君成ベク簡單ニ願ヒマス——靜ニ——靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス(議場騒然)靜ニ——靜ニ——此程度ニ於キマシテ、暫時休憩致シマス

午後十時十二分休憩

午後十時十七分開議

○大口委員長 休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス、田中君ニ申述べマスガ、先刻私

ガ御注意ヲ申シタノデアリマスガ、今出デ居リマス問題ニ對シマシテ、ドノ問題ニ贊成デアルカ、反對デアルカ分ラナイノミナラズ、既ニ御意見ヲ述べラレルコト一時間十分ノ長キニ互リマシテ、其上ニ或ハ財界ノ攪亂ヲ惹起シタト云フヤウナ、世ノ中ニ響キマシテ、極メテ吾々カラ申セバ、憂フベキ言葉ヲ使ハレマス、是ハ段々調査シテ見マセヌト分リマセヌガ、甚ダ私ハ穩カナラズト信ズル御言葉ガ多イヤウニ思ヒマス、我國ノ此國家ヲ維持致シマシテ、經濟界ヲ飽マデ良クシテ行ク上ニ於キマシテハ、左様ナ御言葉ハ御慎ミヲ願ヒタイト思フ言葉ガアリマス、モウ御趣意ダケヲ——此際ドノ案ニ反對力賛成力ノ御趣意ダケヲ茲ニ述べラレマシテ、其他ハ御發言ヲ御控ヘヲ願ヒタイト存ジマス

〔工藤委員〕議事進行ニ付テ……ト呼

○大口委員長 田中君ノ御議論ハモウ十分デアルト思ヒマスカラ、是レ以上私ハ許シマセヌ——只今志賀和多利君ヨリ議事進行ニ關シテ動議ガ出テ居リマス、即チ志賀君ノ動議ハ討論終結ノ動議デアリマス、志賀君ノ討論終結ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議アリ」ト呼フ者アリ
○大口委員長 御異議ナシト認メマス、志賀君ノ動議ハ成立チマシタ、茲ニ討論ハ終局致サレマシタ(拍手)最早此上ハ採決ヲ致シマス、先ヅ日程第五、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ヲ採決ヲ致シマス、本案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○大口委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ原案ノ通り決シマス(拍手)次ニ日程第九、昭和七年勅令第七號、國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件ニ付キ採決ヲ致シマス、承諾ヲ與フルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕「反對」ト呼フ者アリ
○大口委員長 反對ガアリマス、起立ニ諮ヒマス、承認ヲ與フルトノ說ニ贊成ノ諸君

ノ起立ヲ乞ヒマス

〔贊成者 起立〕

○大口委員長 起立多數デアリマス、承認ヲ與フルニ決シマシタ、殘餘ノ案全部ニ對シテ採決致シマス、承諾ヲ與ヘルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル〕

○大口委員長 滿場一致ト認メマス、承諾ヲ與フルニ決シマシタ、是ニテ委員會ヲ閉ヂマス

〔拍手起ル〕

午後十時二十一分散會